

# 府中明郷学園（後期課程）体育館空調設備設置工事

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-01	建築改修工事特記仕様書（1）	—	M-01	機械設備工事特記仕様書（一般共通事項）	—	E-01	特記仕様書	—
A-02	建築改修工事特記仕様書（2）	—	M-02	機械設備工事特記仕様書（工種別事項）	—	E-02	配置図・付近見取図	1/500
A-03	建築改修工事特記仕様書（3）	—	M-03	配置図・付近見取図	1/500	E-03	受変電設備結線図	—
A-04	建築改修工事特記仕様書（4）	—	M-04	空調設備 機器表	—	E-04	幹線系統図	—
A-05	建築改修工事特記仕様書（5）	—	M-05	空調設備 1階上部平面図	1/100	E-05	中央棟・屋上配線図	1/100
A-06	建築改修工事特記仕様書（6）	—	M-06	空調設備 断面図	1/100	E-06	渡り廊下 配線図	1/100・1/10
A-07	建築改修工事特記仕様書（7）	—	M-07	制御設備 1階平面図	1/100	E-07	幹線・動力設備 1階平面図 盤結線図	1/100・1/10
A-08	建築改修工事特記仕様書（8）	—	M-08	制御設備 1階上部平面図	1/100			
A-09	建築改修工事特記仕様書（9）	—						
A-10	配置図・付近見取図	1/500						
A-11	1階平面図	1/100						
A-12	1階上部平面図	1/100						
A-13	断面図	1/100						
A-14	建具位置図・建具表 1	1/200・1/50						
A-15	建具表 2	1/50						



3 防水改修工事
1 降雨等に対する養生方法
2 既存防水層の処理
3 既存下地の設置
4 アスファルト防水

5 改質アスファルトシート防水
(5) 吸水による長さ変化率試験は、試験体（幅40mm×長さ160mm×素材厚さ）を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち24時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム（試薬）」に規定する塩化カルシウム又は JIS K 1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するシリカゲルで調整したデシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の標線間隔を140mmになるように標線を刻む。その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて標線間の長さsを測定し、それを基準（L1）とする。次に試験片の長さ方向を水平にこぼして、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、常温の水中に浸せしめる。24時間経過した後、試験片を水中から取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び標線間の長さ（L2）を測る。

6 合成高分子系ルーフィングシート防水
防水層の種類
工法 種別 施工箇所 断熱材 仕上塗料 高日射放射率防水 備考
・POS ・S-F1
・S4S

7 塗膜防水
防水層の種類
工法 種別 施工箇所 仕上塗料 高日射放射率防水 備考
・POX ※X-1 ※X-1H ※X-2H
・L4X ※X-1 ※X-2H ※X-2
・P1Y ※Y-2
・P2Y ※Y-2



5 建具 改修 工事	1 改修工法	[ 5. 1. 3 ]				9 鋼製軽量建具	性能値等 ( 建具符号 : ・ 建具表による ) [ 5. 2. 2 ] [ 5. 5. 2~4 ] 簡易気密型ドアセット ・ 適用する 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ( ) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) 耐震ドア 面内変形追従性の等級 ( ) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 鋼板の材料 ※ 亜鉛めっき鋼板 ・ ビル板覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ※ 改修標準仕様書表5.5.11による 使用箇所 ( ) 召合せ、縦小口包み板の材質 ※ 鋼板 ・ 標準型鋼製建具の形状及び寸法 ※ 建具表による				
		[ 5. 1. 4 ]									
	2 防火戸	[ 5. 1. 4 ]					10 ステンレス製建具	性能値等 ( 建具符号 : ・ 建具表による ) [ 5. 2. 2 ] [ 5. 4. 2 ] [ 5. 6. 2~5 ] 簡易気密型ドアセット ・ 適用する 外部に面する面する建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ( ) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) 耐震ドア 面内変形追従性の等級 ( ) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 つすりの仕上げ ステンレス鋼板を用いる場合 ※ H-L による 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※ H-L ・ 鏡面仕上げ ・ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ ( ・ a角 ・ b角 ・ c角 )			
	3 見本の製作等	[ 5. 1. 5 ]						11 建具用金物	性能値等 ( 建具符号 : ・ 建具表による ) [ 5. 7. 2、3 ] 金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※ 改修標準仕様書表5.8.1及び適用は建具表による 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 改修標準仕様書表5.8.2による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 標準仕様書表5.8.3による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 標準仕様書表5.8.4による 木製建具に使用する戸車及びレール ※ 標準仕様書表5.8.5による 握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ※ 建具表による		
	4 防犯建物部品	[ 5. 1. 7 ]					錠前類 【シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠】 (品質) デッドボルトの寸法は17mm以上とする。 鍵付きのものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとする。 (性能) <使用頻度による性能> 1) (シリンダ箱錠のみ) ラッチボルトの開閉繰り返し試験 (40万回) を行った後、ハンドルでの開閉操作及びラッチング力が試験前の2倍未満であり、かつ、ハンドルでの開閉操作およびラッチング動作に支障がない。 2) キーによるデッドボルトの旋錠繰り返し試験 (10万回) を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、旋錠操作に支障がなく、かつ、確実に旋錠状態が維持されている。 3) キーによる旋錠機構の旋錠繰り返し試験 (10万回) を行なった後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、旋錠操作に支障がない。 4) キーの抜き差し繰り返し試験 (10万回) を行なった後、キーの抜き差しに要する荷重は10N以下である。また、未使用の合鍵でシリンダが回転でき、かつ、1箇所1段差浅い刻みをもつ異なるキーでは、シリンダが回転しないこと。 (キーに加えるトルクは、150N・cmとする) <外力に対する性能> 1) デッドボルトの押込み強度試験 (10KN) を行なった後、荷重を除いたときのデッドボルトの寸法は8mm以上であること。 2) デッドボルトの側圧強度試験 (10KN) を行なった際、加圧板がデッドボルトを通過しないこと。 3) デッドボルトの押込み強度 (衝撃荷重) 試験 (58.8J) の衝撃荷重を加えたとき、旋錠状態 (デッドボルトの突出量が8mm未満) にならないこと。 4) デッドボルトの側圧強度 (衝撃荷重) 試験 (58.5J) の衝撃荷重を加えたとき、旋錠状態 (加圧板がデッドボルトを通過した状態) にならないこと。 5) (シリンダ本締り錠はグレーD3以上の形径錠の場合) ストライクプレートは厚さ1.5mm以上のステンレス鋼製とし、トロコウは厚さ1.6mm以上の鋼製の一枚板とする。又はストライクの強度と同等以上の強度をもつものとする。 <使用頻の質量に対する性能> (シリンダ箱錠のみ) ラッチボルトの側圧強度試験 (4KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びラッチングに支障がない。 <ハンドルの強度 (シリンダ箱錠のみ) > 1) レバーハンドルのねじり強度試験 (3.5KN・cm) を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、旋錠時ハンドルが固定される錠は、旋錠状態が維持され、かつ、旋錠操作に支障がない。 2) 握り玉のねじり強度試験 (3KN・cm) を行なった後、トルクを除いたとき、握り玉が正常に作動していること。また、旋錠時握り玉が固定される錠は、旋錠状態が維持され、かつ、旋錠操作に支障がない。 3) ハンドルの引張強度試験 (2KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、旋錠時ハンドルが固定される錠は、旋錠状態が維持され、かつ、旋錠操作に支障がない。 4) ハンドルの垂直荷重強度試験 (2KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、旋錠時ハンドルが固定される錠は、旋錠状態が維持され、かつ、旋錠操作に支障がない。 <鍵違い> 1) 鍵違い数は、1.5万以上とする。ただし、異なるキーウェイ形状であっても、共通のキーセクションが存在する場合は、有効かぎ (鍵) 違い数とみなさないものとする。 2) 同一ランプラーの使用数は、60%以下とする。また、6本ランプラーにおいては、キーの同一頻みは、最大2連続までとしていること。 試験方法は、JIS A 1541-1 (建築物用錠一般第1部: 試験方法) による。				
	5 アルミニウム製建具	[ 5. 2. 2~5 ] [ 表 5. 2. 2 ] 性能値等 ( 建具符号 : ・ 建具表による ) 耐風圧性の等級 ( )、気密性の等級 ( )、水密性の等級 ( ) ※ 改修標準仕様書表5.2.11による種別 外部に面する建具の種類 ・ A種 ( 建具符号 : ・ 全て ・ 建具表による ) ・ B種 ( 建具符号 : ・ 全て ・ 建具表による ) ・ C種 ( 建具符号 : ・ 全て ・ 建具表による ) 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ( ) ( 建具符号 : ・ 建具表による ) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) ( 建具符号 : ・ 建具表による ) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 形状及び仕上げ 枠の見込み寸法 ※ 建具表による 表面処理 外部に面する建具 種別 ・ B0-1種 ・ B0-2種 色合等 ※ 標準色 ( ) ・ 特注色 ( ) 屋内の建具 種別 ・ B0-1種 ・ B0-2種 色合等 ※ 標準色 ( ) ・ 特注色 ( ) 結露水の処理方法 ※ 図示 取付工法 水切り板、ぜん板 ※ 図示 木下地の場合の内付け建具 ・ 適用しない ・ 適用する									
	6 網戸等	[ 5. 2. 3 ] [ 5. 3. 3 ]					種類 材質 線径 網目 ・ 防虫網 ※ 合成樹脂製 ・ ガラス織入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製 ・ 防鳥網 ステンレス (SUS304) 線材 1.5mm 網目寸法15mm				
	7 樹脂製建具	[ 5. 2. 2 ] [ 5. 3. 2~5 ]					性能値等 ( 建具符号 : ・ 建具表による ) 耐風圧性の等級 ( )、気密性の等級 ( )、水密性の等級 ( ) ※ 改修標準仕様書表5.3.11による種別 外部に面する建具 ・ A種 ( 建具符号 : ・ 全て ・ 建具表による ) ・ B種 ( 建具符号 : ・ 全て ・ 建具表による ) ・ C種 ( 建具符号 : ・ 全て ・ 建具表による ) 防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2 ( 建具符号 : ・ 建具表による ) 断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級 ・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ・ H-7 ・ H-8 ( 建具符号 : ・ 建具表による ) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 形状及び仕上げ 枠の見込み寸法 ※ 建具表による 表面色 ※ 標準色 ・ 特注色 取付工法 水切り板、ぜん板 ※ 図示 木下地の場合の内付け建具 ・ 適用しない ・ 適用する ガラス ※ 複層ガラス				
8 鋼製建具	[ 5. 2. 2 ] [ 5. 4. 2~4 ] [ 表 5. 4. 2 ]				性能値等 ( 建具符号 : ・ 建具表による ) 簡易気密型ドアセット 気密性の等級 ・ A-3 水密性の等級 ・ W-1 外部に面する面する建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ( ) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) 耐震ドア 面内変形追従性の等級 ( ) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 つすりの仕上げ ステンレス鋼板を用いる場合 ※ H-L による 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ※ 改修標準仕様書表5.4.21による 使用箇所 ( ) 標準型鋼製建具の形状及び寸法 ※ 建具表による						









建築非構造部材の耐震性能に係る標準的な特記事項			扉		A D S D L D S S D		R C壁に設置する特定室等及び避難経路の扉 ・耐震ドア 面内変形追随性の等級 ( ) ( 建具符号 ; ※建具表による )		その他の 建築非構 造部材		フリーク スフロア		フリークセ スフロア		20章 フリーアクセスフロアの特記事項による			
建築設計基準	項目	特記事項																
外壁	襖壁 CW (メタル P C a)	CW工事 取付方法、性能等		ガラス	ガラス	ガラス	構造体の層間変形に対する追従性 以下の構造体の層間変形角に対して、破損、脱落が生じないよう取り付けられているものとする。 ・ 1 / 1 0 0 ・ 1 / 2 0 0 ・ /	重量がある扉 以下の設計用震度の地震力に対して、脱落が生じないものとする。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 設計用水平震度 ( K <sub>H</sub> ) ※ 1 . 0 設計用鉛直震度 ( K <sub>V</sub> ) ※ 0 . 5 ( 建具符号 ; ※建具表による )	エキスパ ンション ジョイント 金物	エキスパ ンション ジョイント 金物	材質		階区分	建築物間の クリアランス (mm)	実位追従量 (mm)	耐火性能	断熱性能	備考
		・アルミ ニウム製 ・ステン レス製									・ ( ) 階 ～ ( ) 階	・ 5 0 ・ 1 0 0 ・ 1 5 0	( 避難経路の 床等 ) ・ 以上 ( その他 ) ・ 以上	・ 有り ( ) ( )	・ 無し ( ) ( )			
		・アルミ ニウム製 ・ステン レス製									・ ( ) 階 ～ ( ) 階	・ 5 0 ・ 1 0 0 ・ 1 5 0	( 避難経路の 床等 ) ・ 有り ( ) ( )	・ 無し ( ) ( )	・ 無し ( ) ( )			
構造体の層間変形に対する追従性		襖壁 ( 仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材 ) の性能 左記の層間変形角に対して、脱落しないこと		天井	特定天井	軽量鉄骨天井 下地 ( 特定天井 )	範囲 ※図示 特定天井の設計用震度及びクリアランスは以下による。 特定天井告示 (平成25年国土交通省告示第771号) による特定天井の設計用震度 検証ルート ( )											
層間変形角		・ 1 / 1 0 0 ・ 1 / 2 0 0 ・		天井	特定天井	軽量鉄骨天井 下地 ( 特定天井 )	範囲 ※図示 標準仕様書 14. 4. 1～14. 4. 4 に加えて、天井下地材における耐震性を考慮した補強は、以下の1)～4)のとおりとする。 1) 野縁受けは、相互にジョイントを差し込んだ上でねじ留め。 2) 野縁受けと野縁受けの隣り合うジョイントの位置は、互いに1m以上離し、平島状に配置。 3) 野縁受けと吊りボルトの接合に用いるハンガーは、ねじ留め等の措置 (開き止め) を講じる。 4) 野縁と野縁受けの接合に用いるクリップは、特定天井告示 (平成25年国土交通省告示第771号) 第3項に適合する天井に用いられるもの又は耐風圧クリップ相当の緊結度合を「新たな特定天井の技術基準 (天井と周囲の壁等との間に隙間を設けない仕様追加) の解説 (平成28年7月版)」 (国土交通省国土技術政策総合研究所他) の「付録1クリップの接合部の耐震試験」により確認されたものを使用する。なお、当該クリップは、J I S A 6 5 1 7 1 によらなくてもよいものとする。											
層間変形角 1 / 3 0 0 に対して、ほとんど補修の必要がなく、継続使用に耐えること。				天井	在来工法 の吊り 天井	軽量鉄骨天井 下地	—											
外壁パネルの耐震性 地震力に対する安全性		設計用震度 襖壁 ( 仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材 ) の性能 設計用水平震度 ( K <sub>H</sub> ) ※ 1 . 0 設計用鉛直震度 ( K <sub>V</sub> ) ※ 0 . 5 ・		天井	システム 天井	システム天井	※グリッドタイプ ・システム天井 範囲 ※図示 耐震性 以下の設計用震度の地震力及び構造体の層間変形角に対して、脱落しないものとする。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 設計用水平震度 ( K <sub>H</sub> ) ※ 1 . 0 設計用鉛直震度 ( K <sub>V</sub> ) ※ 0 . 5 構造体の層間変形角 ・ 1 / 1 0 0 ・ 1 / 2 0 0 ・ /											
構造体の層間変形に対する追従性		層間変形角 襖壁 ( 仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材 ) の性能 左記の層間変形角に対して、脱落しないこと		間仕切り	間仕切り	A L C パネル	間仕切りパネルの耐震性 地震力に対する安全性 設計用震度 襖壁 ( 仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材 ) の性能 設計用水平震度 ( K <sub>H</sub> ) ※ 1 . 0 設計用鉛直震度 ( K <sub>V</sub> ) ※ 0 . 5 ・											
構造体の層間変形に対する追従性		層間変形角 襖壁 ( 仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材 ) の性能 左記の層間変形角に対して、脱落しないこと		間仕切り	間仕切り	A L C パネル	構造体の層間変形に対する追従性 層間変形角 襖壁 ( 仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材 ) の性能 左記の層間変形角に対して、脱落しないこと ・ 1 / 1 0 0 ・ 1 / 2 0 0 ・											
構造体の層間変形に対する追従性		層間変形角 襖壁 ( 仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材 ) の性能 左記の層間変形角に対して、脱落しないこと		押出成形セ ト板 ( E C P )	押出成形セ ト板 ( E C P )	間仕切りパネルの耐震性 地震力に対する安全性 設計用震度 襖壁 ( 仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材 ) の性能 設計用水平震度 ( K <sub>H</sub> ) ※ 1 . 0 設計用鉛直震度 ( K <sub>V</sub> ) ※ 0 . 5 ・												
構造体の層間変形に対する追従性		層間変形角 襖壁 ( 仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材 ) の性能 左記の層間変形角に対して、脱落しないこと				軽量鉄骨壁 下地	—											

家具、門扉等に固定する家具

固定方法

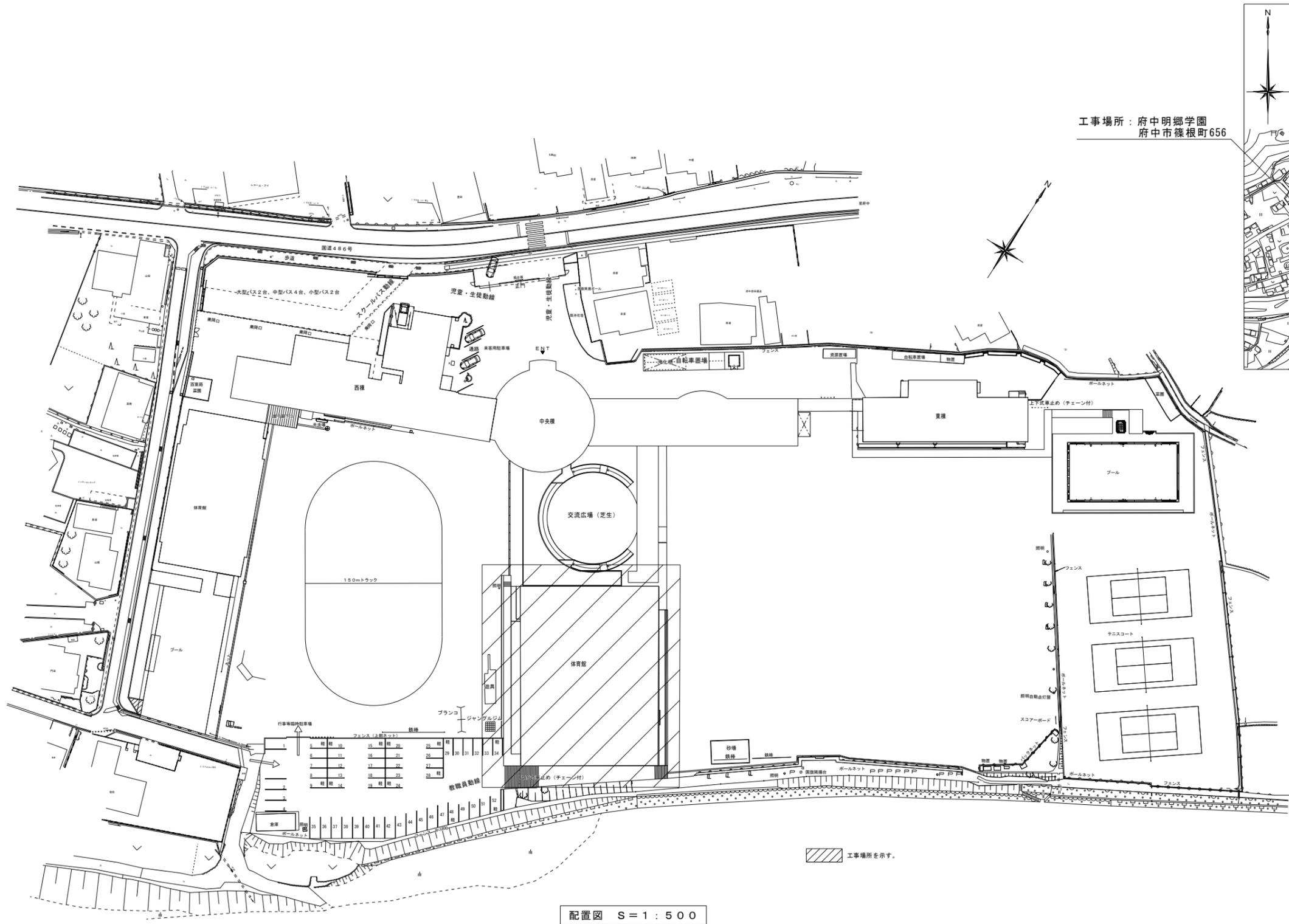
- ・壁固定 (図示)
- ・床固定 (図示)

以下の設計用震度の地震による引抜き力に対して固定金具に生じる応力が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないものとする。ただし、所定の応力度以内にあたる事の確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震による引抜き力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準 (製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。) が定める値による。

設計用水平震度 ( K<sub>H</sub> ) ※ 1 . 0  
設計用鉛直震度 ( K<sub>V</sub> ) ※ 0 . 5

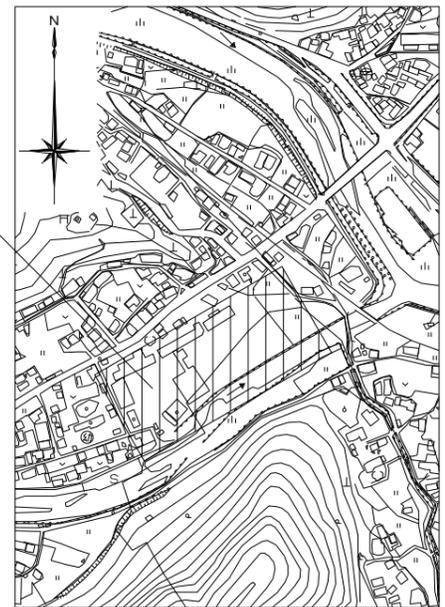
家具名称	設置場所	備考
・	・	・
・	・	・
・	・	・
・	・	・

・軽量鉄骨壁下地等への補強 ( ※図示 )  
※収納物の取乱防止措置 (ラッチ機構、ロック機構等) を講ずる。



配置図 S=1:500

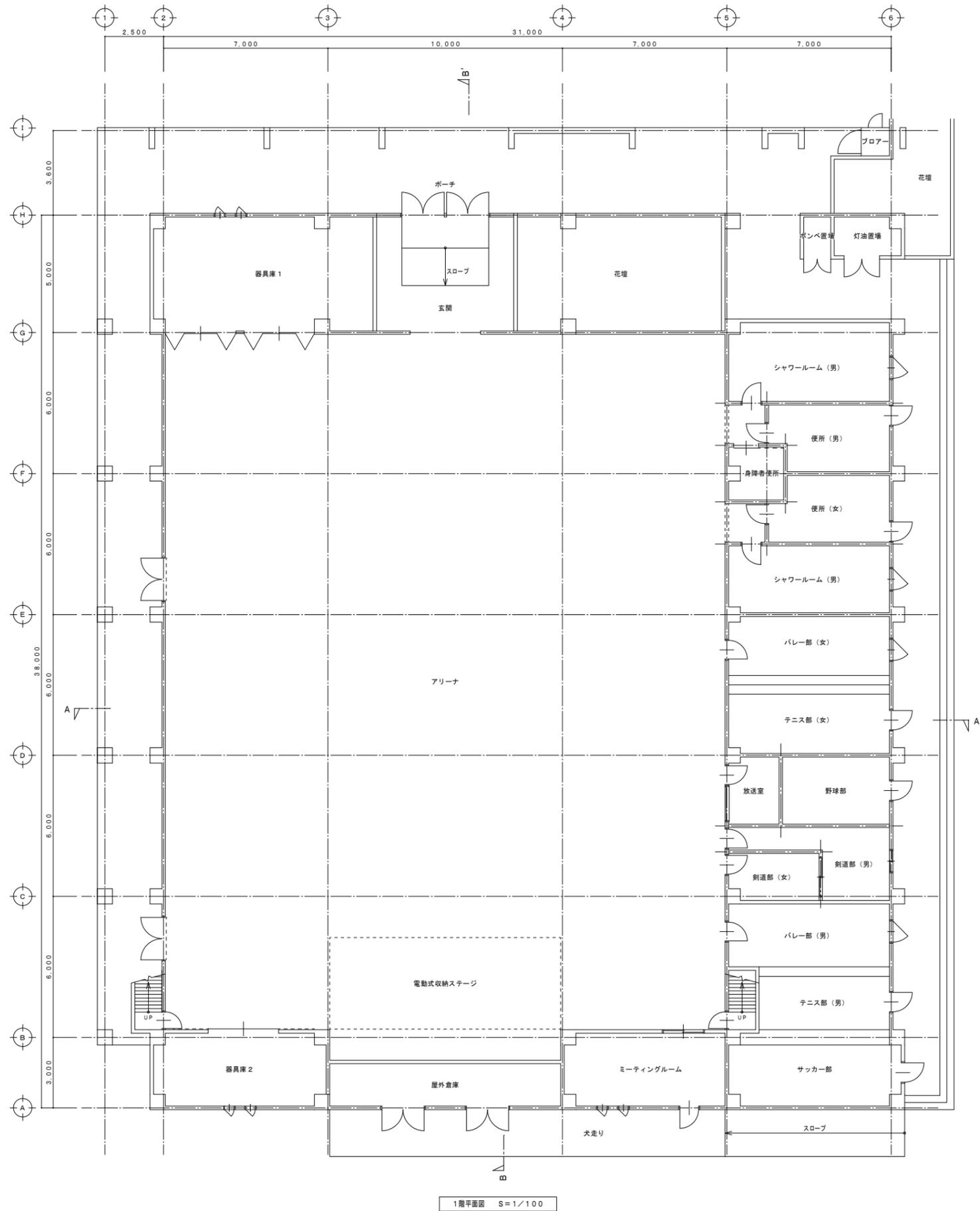
工事場所：府中明郷学園  
府中市篠根町656



付近見取図

訂正					
図面内容・縮尺					

工事名	府中明郷学園(後期課程)体育館空調設備設置工事
図面内容・縮尺	配置図・付近見取図

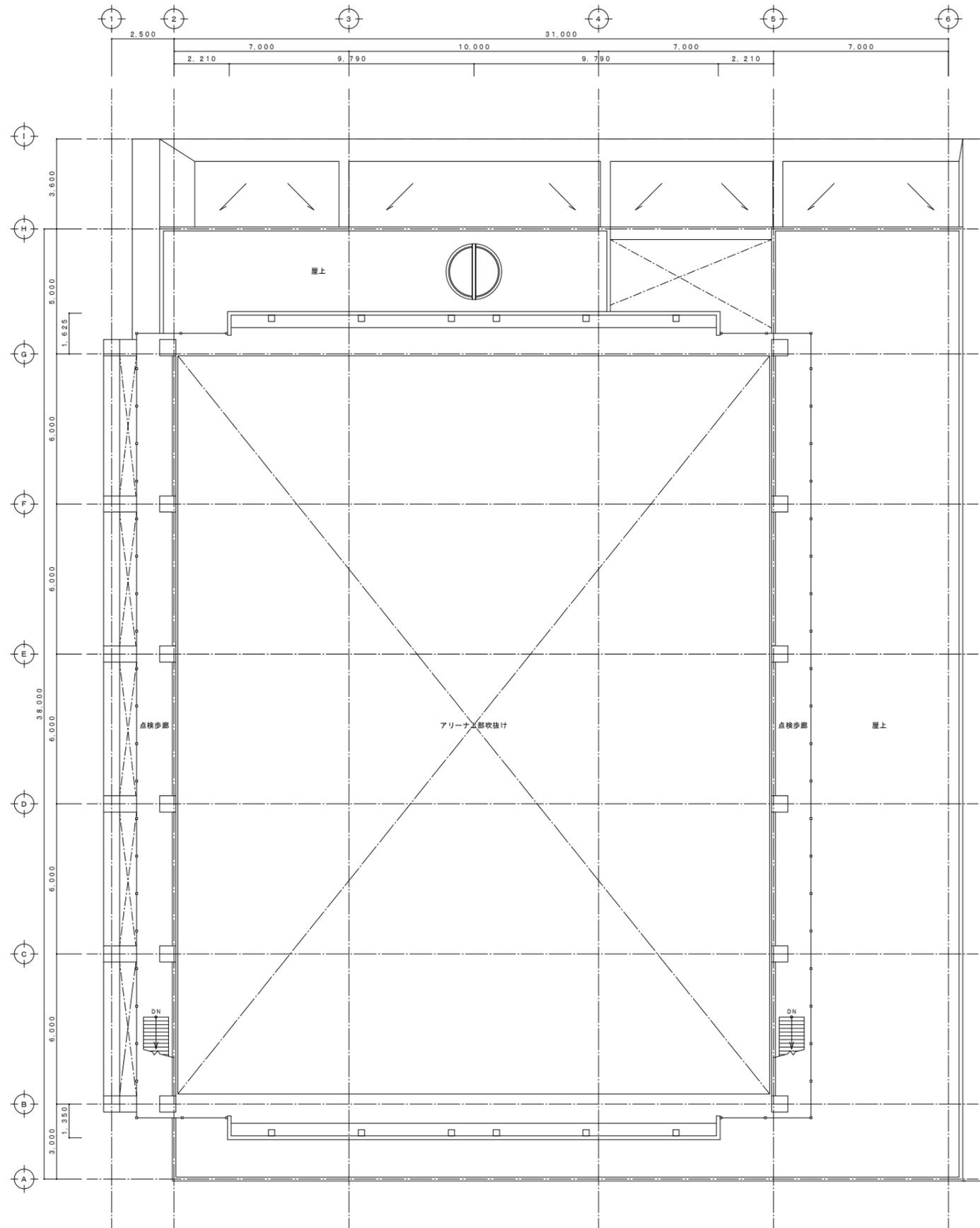


1階平面図 S=1/100

設計	
監理	
施工	

名称	
所在地	
図面内容・縮尺	

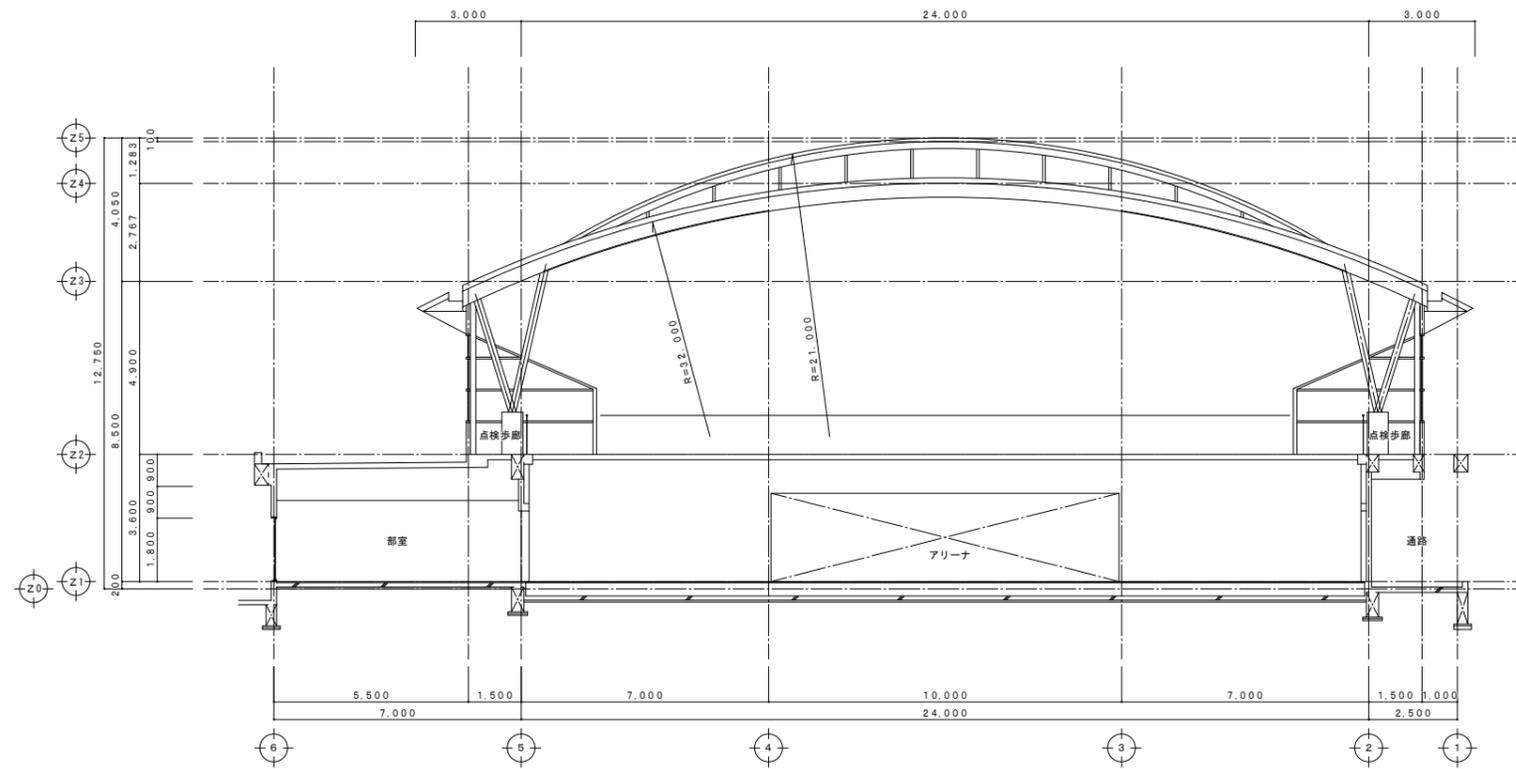
工事名	府中明郷学園（後期課程）体育館空調設備設置工事
図面内容・縮尺	1階平面図 1/100
区分	A1-100%, A3-50%



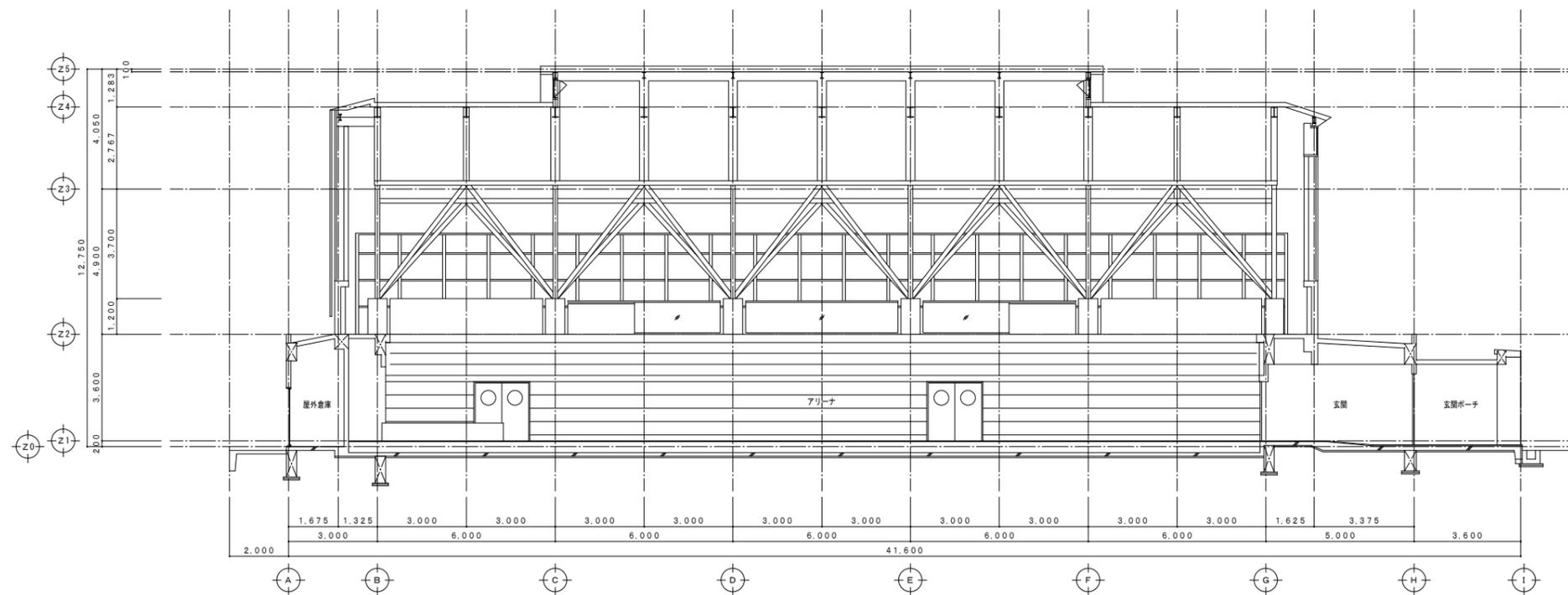
1階上部平面図 S=1/100

FILE	

工事名	府中明郷学園（後期課程）体育館空調設備設置工事
図面内容・縮尺	1階上部平面図 1/100
区分	建築



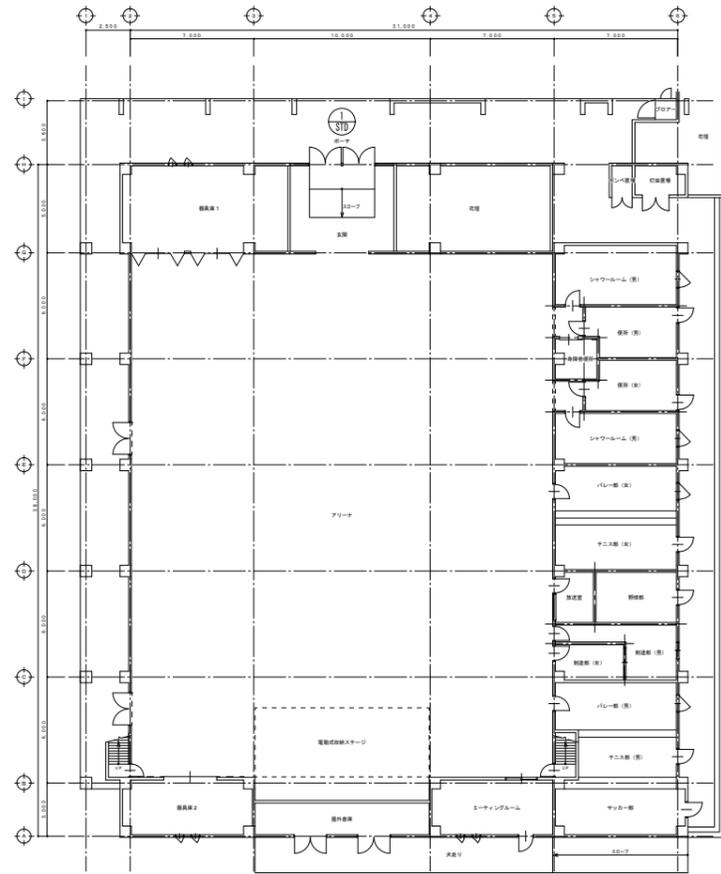
A-A' 断面図 S=1/100



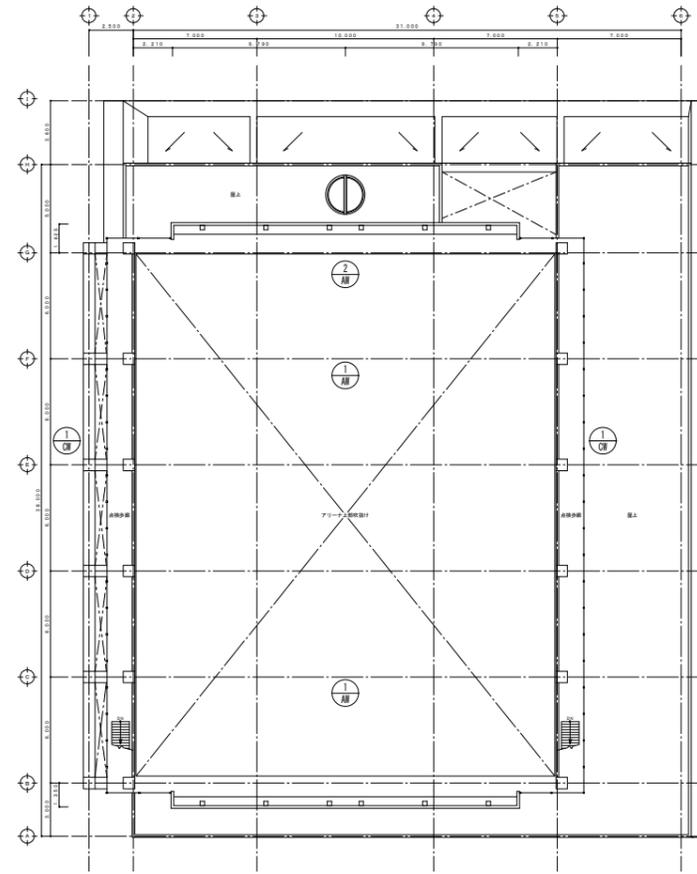
B-B' 断面図 S=1/100

図名	
図面内容	
縮尺	

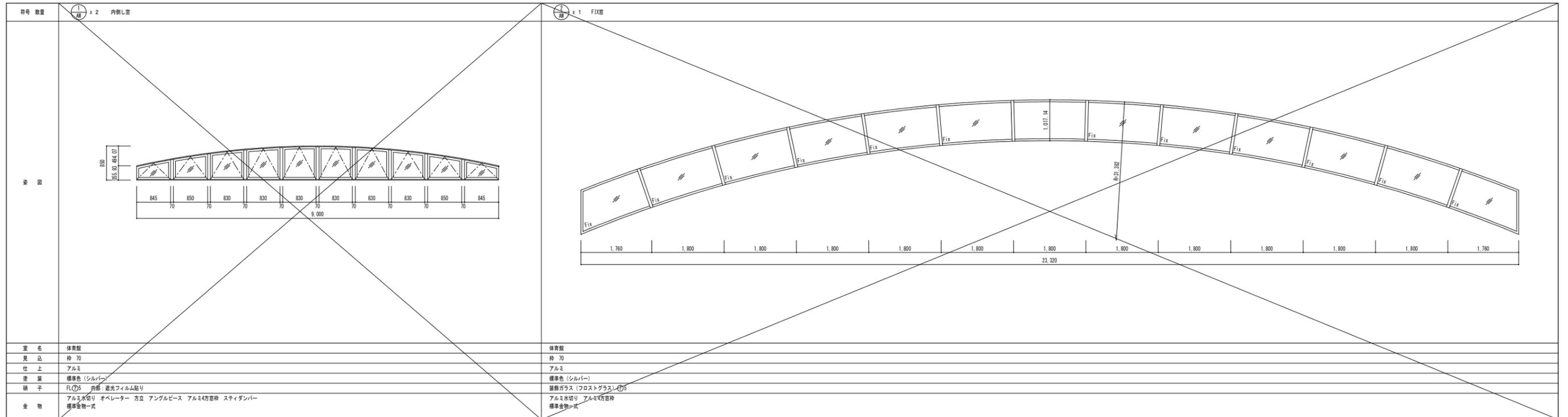
設計	
校閲	
承認	

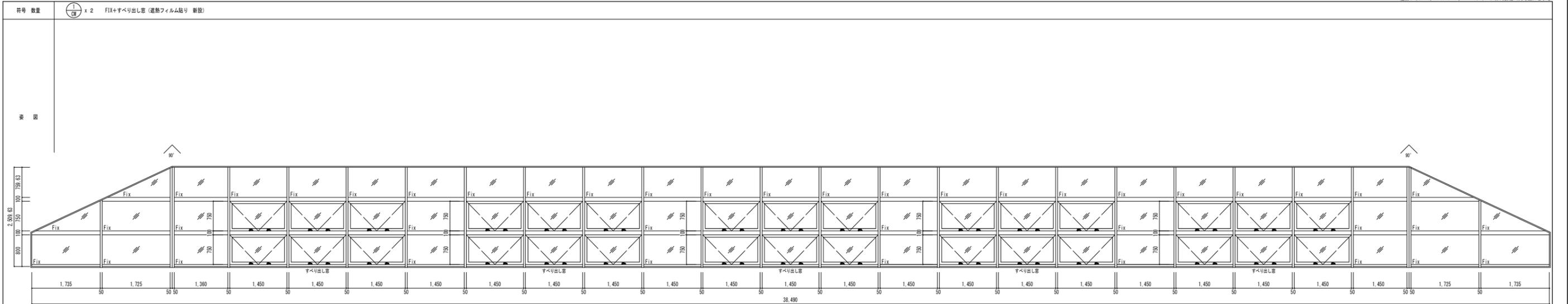


1階建具位置図 S=1/200

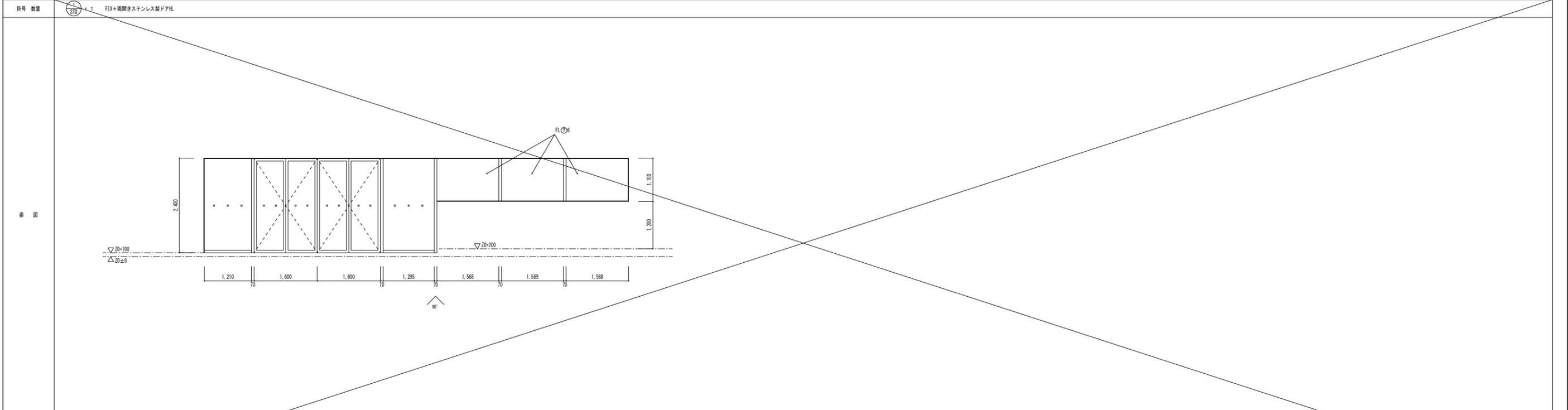


1階上部建具位置図 S=1/200



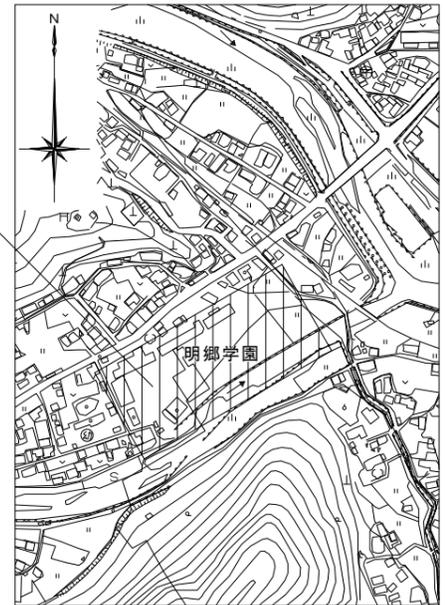


室名	点検扉
見込	枠 80
仕上	アルミ
塗装	標準色 (シルバー)
網子	強化ガラス⑤
金物	ファスナー ブラケット ジョイントスリーブ ボルト ハンドル 標準金物一式



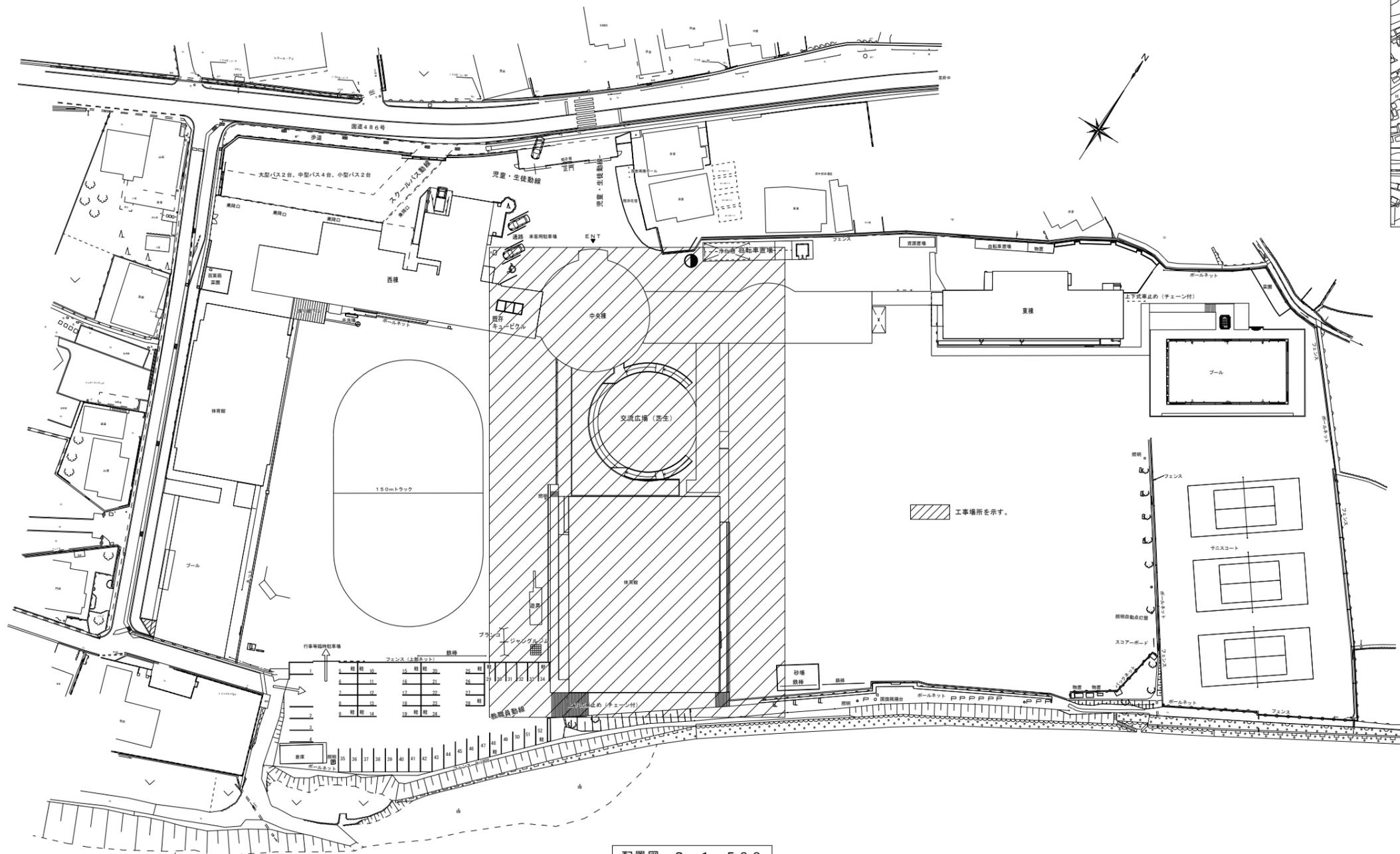
室名	玄関ホール
見込	枠 70
仕上	アルミ
網子	強化ガラス⑤ FL⑥
金物	FH 80-S ドアハンドル(ユニオン 162-06-107 8セット) ドアサイン(ユニオン 06-14 14個)





申請場所：府中明郷学園  
府中市篠根町656

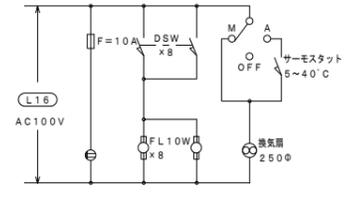
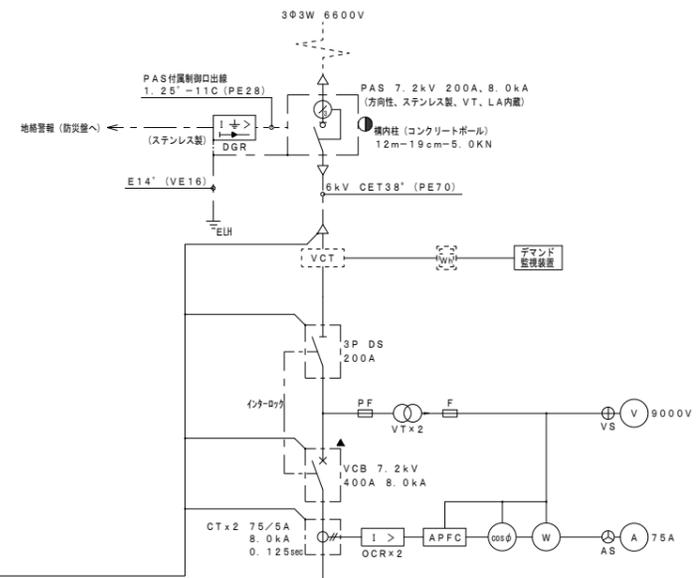
付近見取図



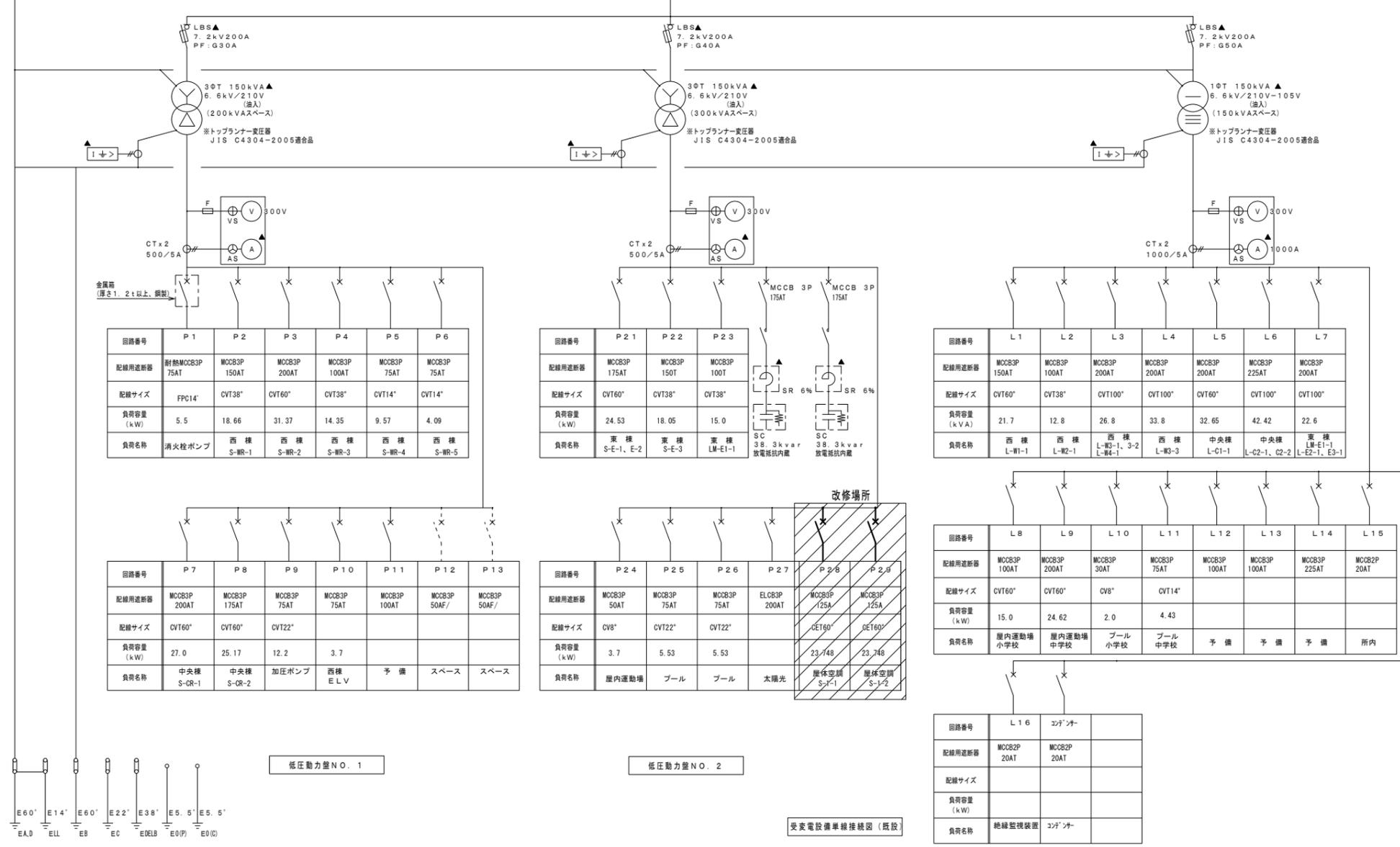
配置図 S=1:500

訂正					
図面内容・縮尺					

工事名	府中明郷学園(後期課程)体育館空調設備設置工事
図面内容・縮尺	配置図・付近見取図



故障表示項目	
項目	複合防災室 (1階事務室)
受変電設備	高圧地絡 VCB遮断 低圧進相コンデンサ異常 3φMDA異常 1φMDA異常 低圧地絡 変圧器 ※▲印は警報接点付
受水機	受水機減水 受水機過水 加圧ポンプ故障 ※給水加圧ポンプ制御盤より移管受け 緊急遮断弁作動 ※緊急遮断弁制御盤より移管受け 警報用バッテリー付き



回路番号	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	P 6
配線用遮断器	耐熱MCCB3P 75AT	MCCB3P 150AT	MCCB3P 200AT	MCCB3P 100AT	MCCB3P 75AT	MCCB3P 75AT
配線サイズ	FP14	CVT38	CVT60	CVT38	CVT14	CVT14
負荷容量 (kW)	5.5	18.66	31.37	14.35	9.57	4.09
負荷名称	消火栓ポンプ	西棟 S-WR-1	西棟 S-WR-2	西棟 S-WR-3	西棟 S-WR-4	西棟 S-WR-5

回路番号	P 2 1	P 2 2	P 2 3
配線用遮断器	MCCB3P 175AT	MCCB3P 150T	MCCB3P 100T
配線サイズ	CVT60	CVT38	CVT38
負荷容量 (kW)	24.53	18.05	15.0
負荷名称	東棟 S-E-1, E-2	東棟 S-E-3	東棟 LM-E1-1

回路番号	L 1	L 2	L 3	L 4	L 5	L 6	L 7
配線用遮断器	MCCB3P 150AT	MCCB3P 100AT	MCCB3P 200AT	MCCB3P 200AT	MCCB3P 200AT	MCCB3P 225AT	MCCB3P 200AT
配線サイズ	CVT60	CVT38	CVT100	CVT100	CVT60	CVT100	CVT100
負荷容量 (kVA)	21.7	12.8	26.8	33.8	32.65	42.42	22.6
負荷名称	西棟 L-W1-1	西棟 L-W2-1	西棟 L-W3-1, 3-2	西棟 L-W3-3	中央棟 L-C1-1	中央棟 L-C2-1, C2-2	東棟 LM-E1-1, E3-1

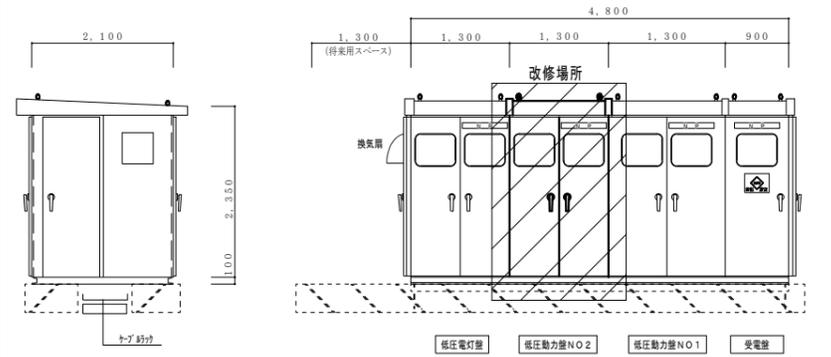
回路番号	P 7	P 8	P 9	P 10	P 11	P 12	P 13
配線用遮断器	MCCB3P 200AT	MCCB3P 175AT	MCCB3P 75AT	MCCB3P 75AT	MCCB3P 100AT	MCCB3P 50AF	MCCB3P 50AF
配線サイズ	CVT60	CVT60	CVT22				
負荷容量 (kW)	27.0	25.17	12.2	3.7			
負荷名称	中央棟 S-CR-1	中央棟 S-CR-2	加圧ポンプ	西棟 E L V	予備	スペース	スペース

回路番号	P 2 4	P 2 5	P 2 6	P 2 7	P 2 8	P 2 9
配線用遮断器	MCCB3P 50AT	MCCB3P 75AT	MCCB3P 75AT	ELCB3P 200AT	MCCB3P 125A	MCCB3P 125A
配線サイズ	CV8	CVT22	CVT22		GE160	GE160
負荷容量 (kW)	3.7	5.53	5.53		23.748	23.748
負荷名称	屋内運動場	プール	プール	太陽光	屋体空調 S-J-1	屋体空調 S-J-2

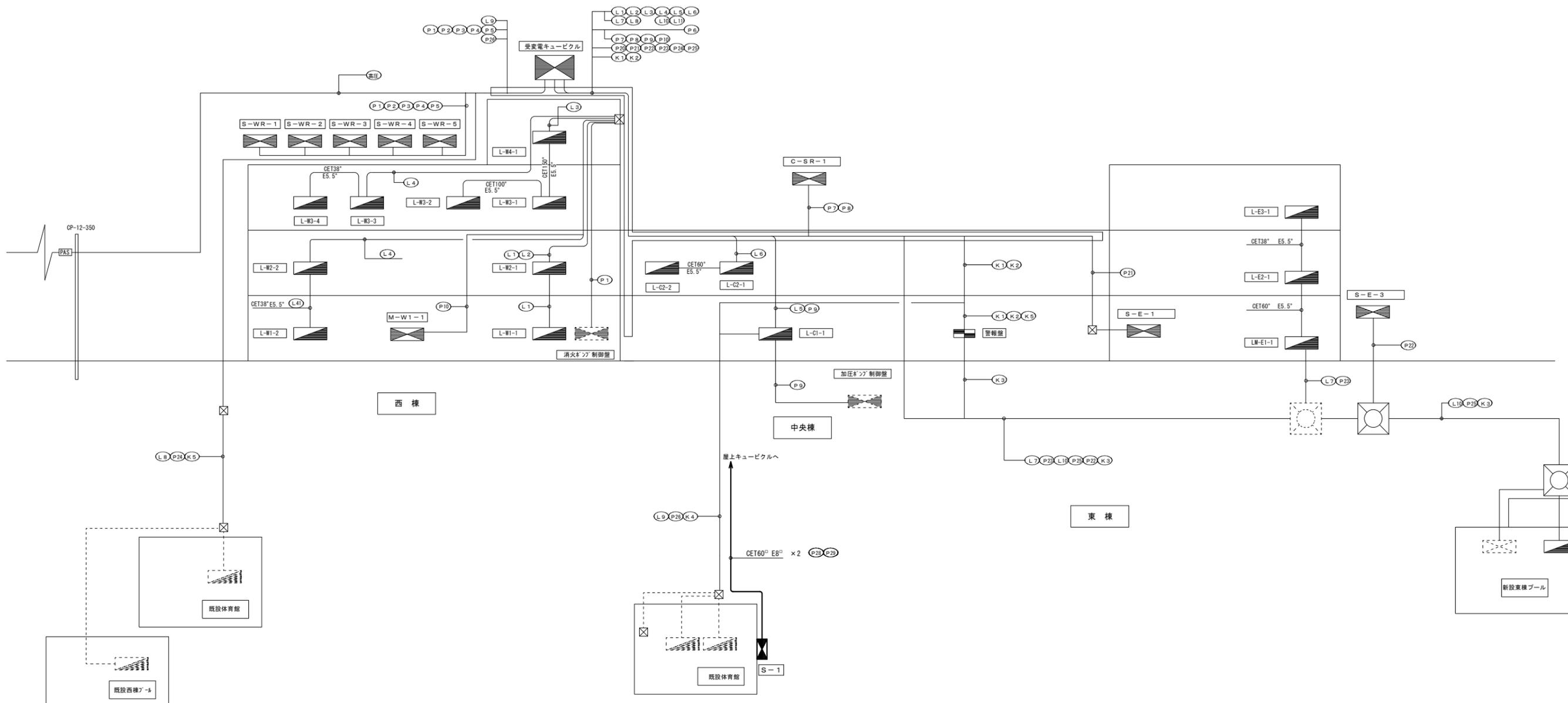
回路番号	L 8	L 9	L 10	L 11	L 12	L 13	L 14	L 15
配線用遮断器	MCCB3P 100AT	MCCB3P 200AT	MCCB3P 30AT	MCCB3P 75AT	MCCB3P 100AT	MCCB3P 100AT	MCCB3P 225AT	MCCB2P 20AT
配線サイズ	CVT60	CVT60	CV8	CVT14				
負荷容量 (kW)	15.0	24.62	2.0	4.43				
負荷名称	屋内運動場 小学校	屋内運動場 中学校	プール 小学校	プール 中学校	予備	予備	予備	所内

回路番号	L 16	コンデンサ
配線用遮断器	MCCB2P 20AT	MCCB2P 20AT
配線サイズ		
負荷容量 (kW)		
負荷名称	絶縁監視装置	コンデンサ

改修内容  
ブレーカーの増設を行う。



キュービクル概設仕様 (CB2-1形)	
形式	屋外型
組 枠	L-50×50×4 t
屋根板	SUS304 2 t
扉 板	2.3 t 鋼板
扉 板	2.3 t 鋼板
内 設 板	3.2 t 鋼板
底 板	2.3 t 鋼板
把 手	L形鋳材 No. 200
塗 装	メラミン焼付、指定色塗装
附 属 品	フック棒 1m 1 本
	補修色 1 缶
	点検用工具 1 式
	LBS用予備ヒューズ 100 %
	その他ヒューズ 100 %
	消火器 (備品) ABC10型 (SUS製収容箱共) 1 本 (固定)



幹線リスト

幹線	配線区間		配線	配管	備考
	始点	終点			
高圧	引込柱・PAS	受電キュービクル	6KV-CVT38"	G82	
K1	SOG制御盤	中央棟 職員室 監視盤	CPEE1. 2-2P	FEP40-転がし	
K2	受電キュービクル	中央棟 職員室 監視盤	CPEE1. 2-2P	ラック転がし	
K3	プール制御盤	中央棟 職員室 監視盤	CPEE1. 2-2P	FEP40-転がし	
K4	校舎浄化槽制御盤	中央棟 職員室 監視盤	CPEE1. 2-2P		
K5	体育館浄化槽制御盤	中央棟 職員室 監視盤	CPEE1. 2-2P	FEP40-(16)	

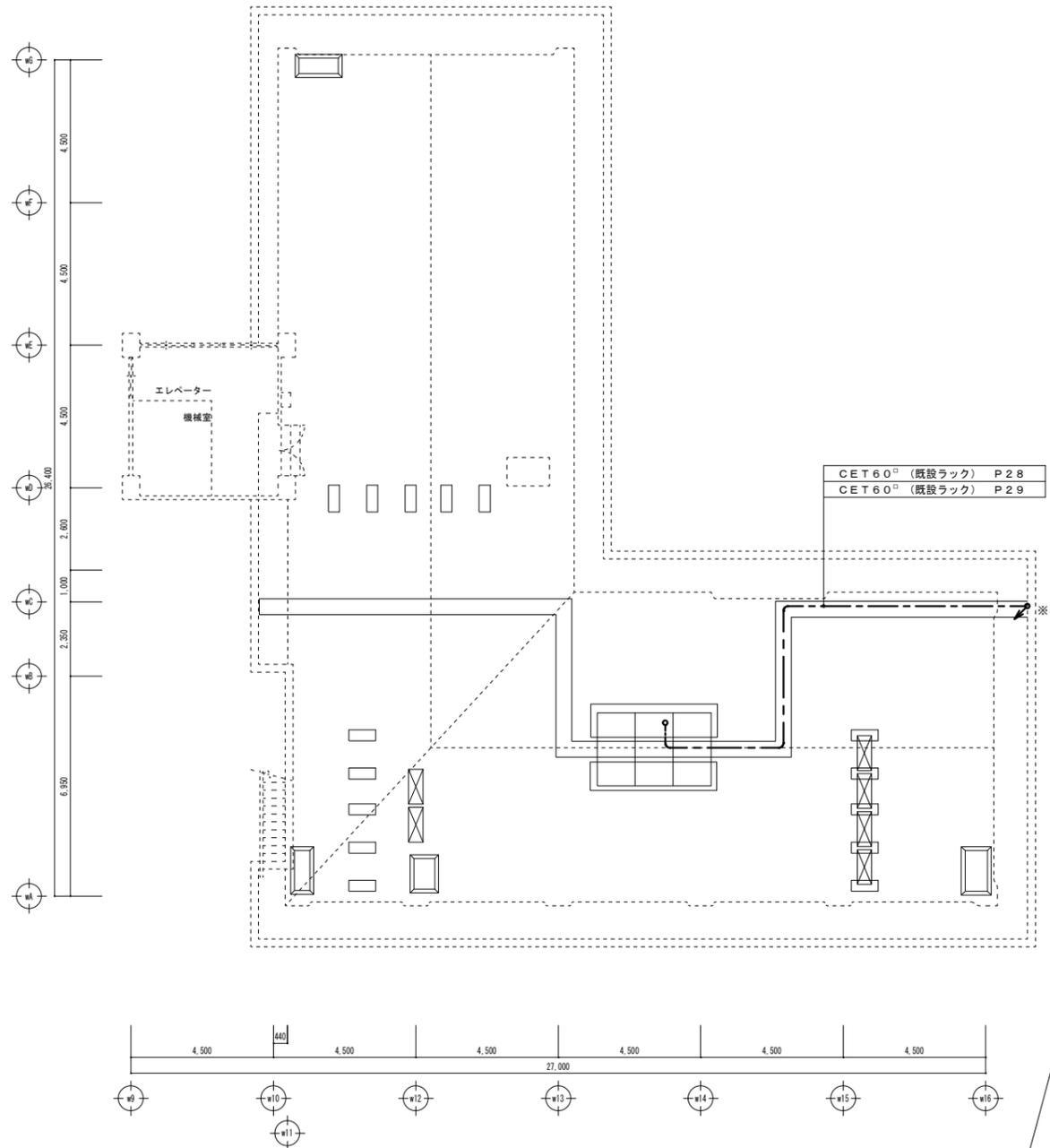
幹線リスト

幹線	配線区間		配線	配管	備考
	始点	終点			
L1	受電キュービクル	L-W1-1	CVT 60" E14"	ラック E75	
L2	受電キュービクル	L-W2-1	CVT 38" E14"	ラック E63	
L3	受電キュービクル	L-W4-1	CVT100" E14"	ラック P82	L-W3-1・L-W3-2
L4	受電キュービクル	L-W3-3	CVT100" E14"	ラック P82	
L5	受電キュービクル	L-C1-1	CVT 60" E14"	ラック E75	
L6	受電キュービクル	L-C2-1	CET100" E14"	ラック P82	L-C2-2
L7	受電キュービクル	L-E1-1	CVT100" E14"	ラック P70	L-E2-1・L-E3-1
L8	受電キュービクル	屋内運動場 (小学校)	CVT 60" E14"	ラック P70	
L9	受電キュービクル	屋内運動場 (中学校)	CVT 60" E14"	ラック P70	
L10	受電キュービクル	プール (小学校)	CVT 8" -3C E5.5"	ラック P36	
L11	受電キュービクル	プール (中学校)	CVT 14" E5.5"	ラック FEP40	

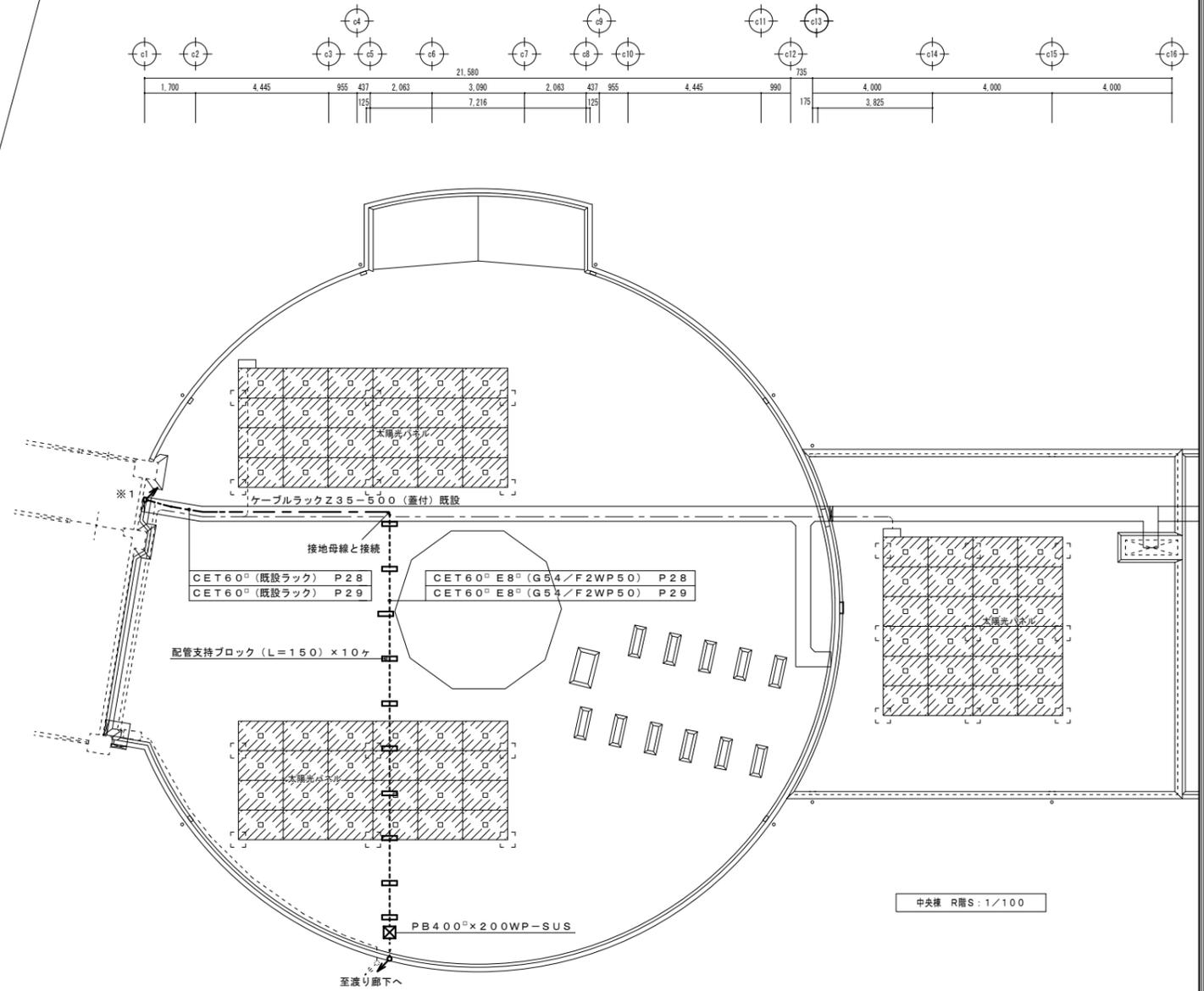
幹線リスト

幹線	配線区間		配線	配管	備考
	始点	終点			
P1	受電キュービクル	消火栓ポンプ	FPC14" -3C E5.5"	ラック E39	
P2	受電キュービクル	S-WR-1	CET38" E14"	ラック P54	
P3	受電キュービクル	S-WR-2	CET60" E14"	ラック P70	
P4	受電キュービクル	S-WR-3	CET38" E14"	ラック P54	
P5	受電キュービクル	S-WR-4	CVT14" E5.5"	ラック P36	
P6	受電キュービクル	S-WR-5	CVT14" E5.5"	ラック P36	
P7	受電キュービクル	S-CR-1	CET60" E14"	ラック P70	
P8	受電キュービクル	S-CR-1	CET60" E14"	ラック P70	
P9	受電キュービクル	加圧ポンプ	CVT22" E8"	ラック FEP50 E51	浄化槽
P10	受電キュービクル	M-W1-1	CVT 14" E5.5"	ラック E39	エレベーター
P11	受電キュービクル	S-E-1	CVT 60" E14"	ラック P70	S-E-2
P12	受電キュービクル	S-E-3	CVT 38" E14"	ラック FEP50	
P13	受電キュービクル	LM-E1-1	CVT 38" E14"	ラック FEP50	
P14	受電キュービクル	屋内運動場 (中学校浄化槽)	CV8" -3C E5.5"	ラック P36	ラック FEP50
P15	受電キュービクル	プール (小学校)	CVT 22" E5.5"	ラック P42	
P16	受電キュービクル	プール (中学校)	CV8" -3C E5.5"	ラック P36	
P17	受電キュービクル	S-1	CET60" E8"	ラック G54	屋外空調
P18	受電キュービクル	S-1	CET60" E8"	ラック G54	屋外空調

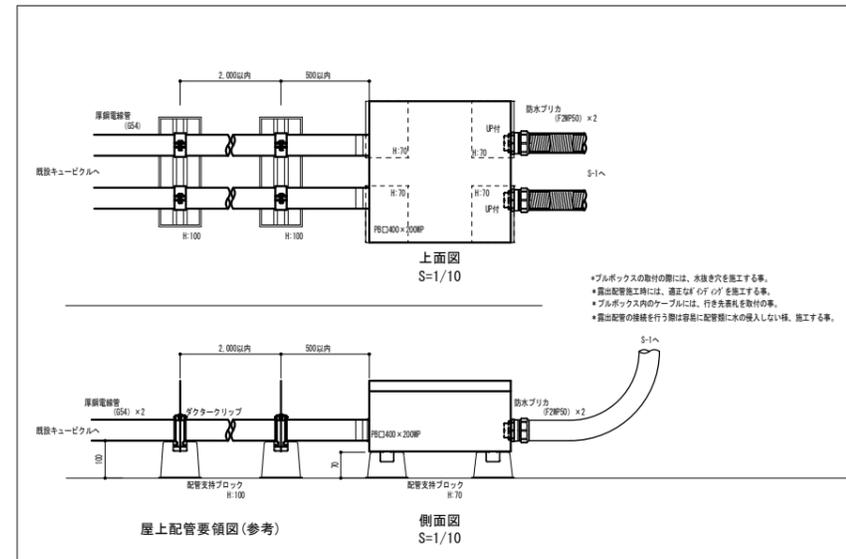
今回工事箇所



屋階平面図 1/100



中央棟 R階 S: 1/100

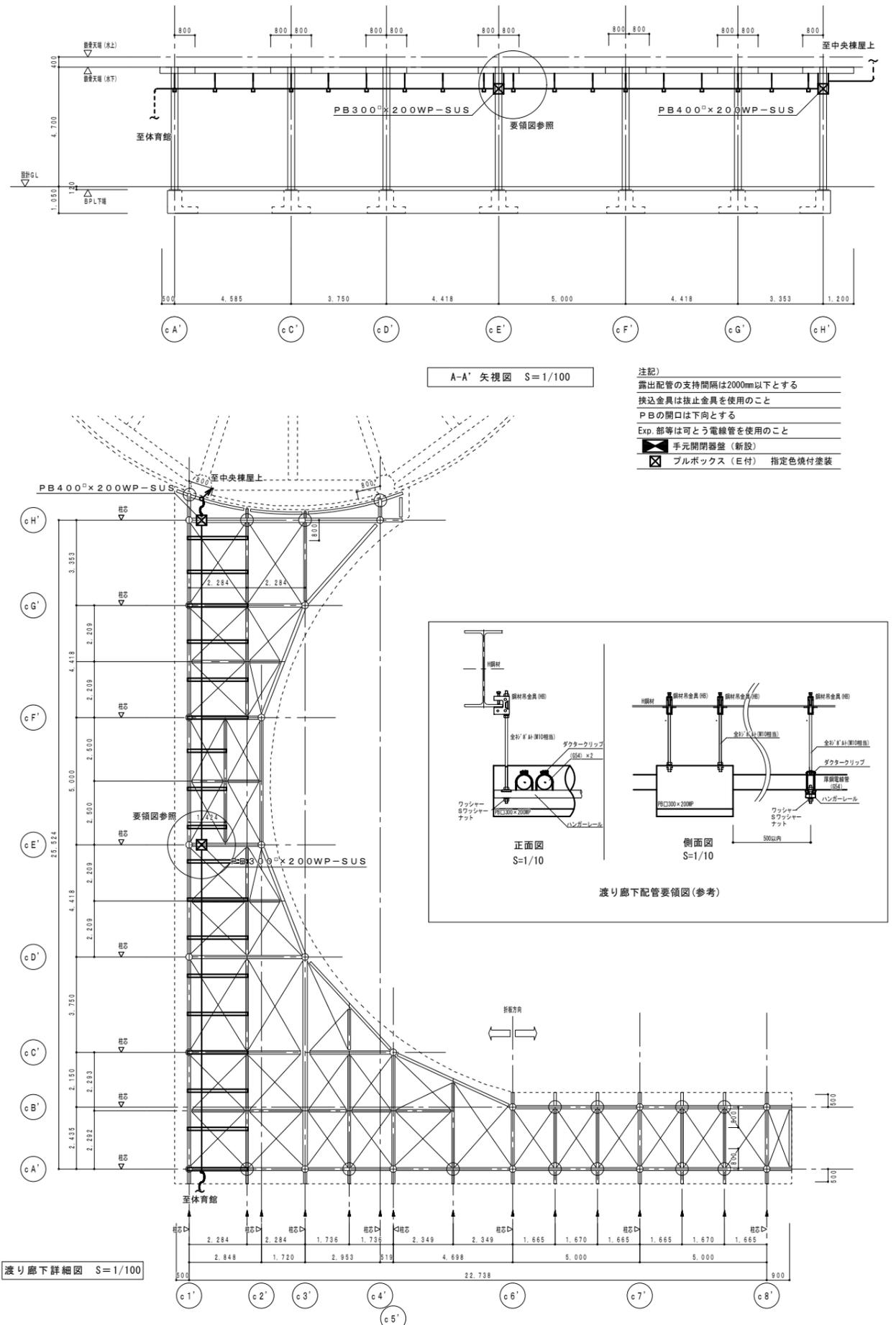
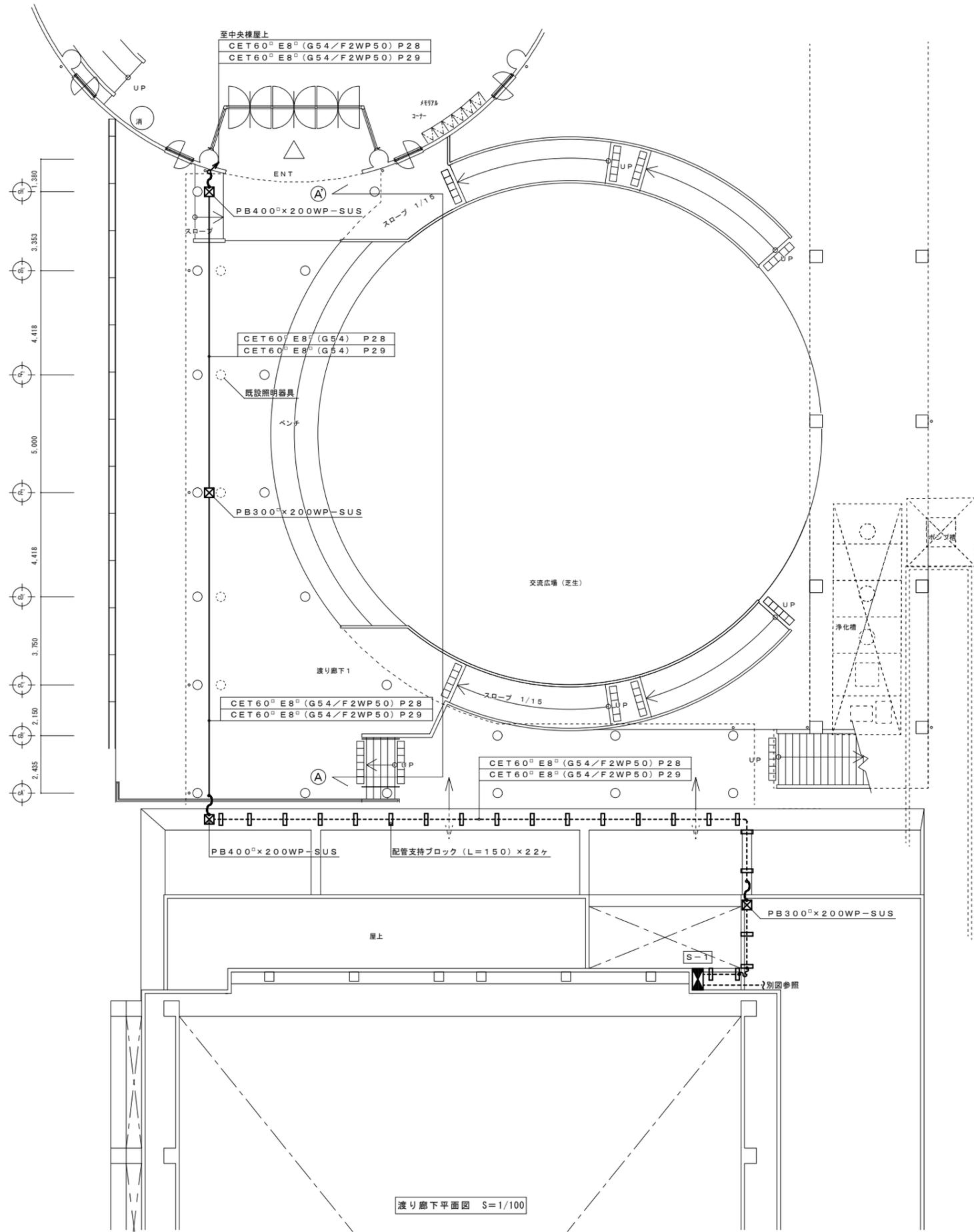


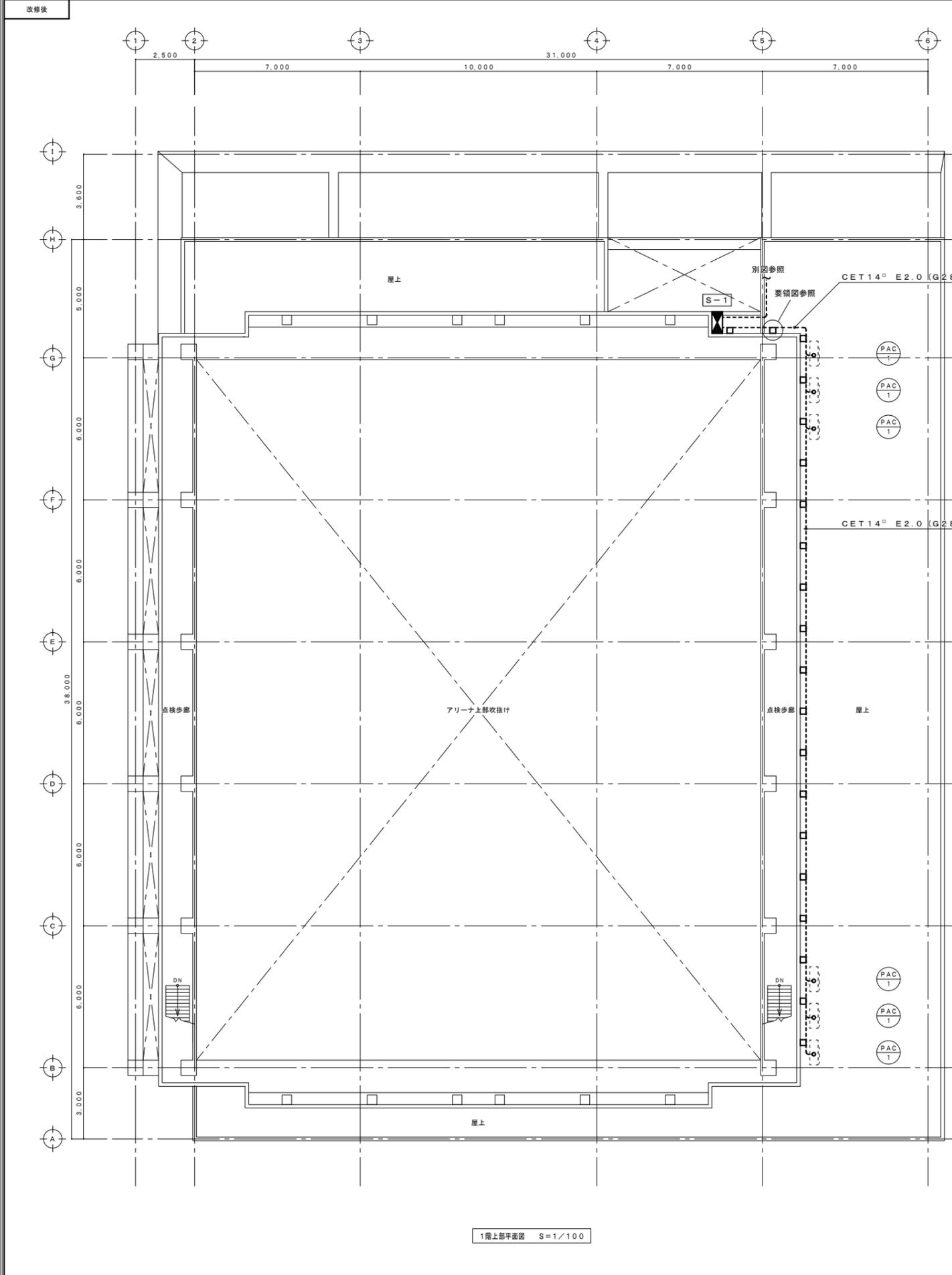
- プルボックスの取付の際には、水抜き穴を施工する事。
- 露出配管施工時には、適正な防水工を施工する事。
- プルボックス内のケーブルには、行き先標識を貼付する事。
- 露出配管の接続を行う際は管壁に配管部に水の侵入しない様、施工する事。

訂正	

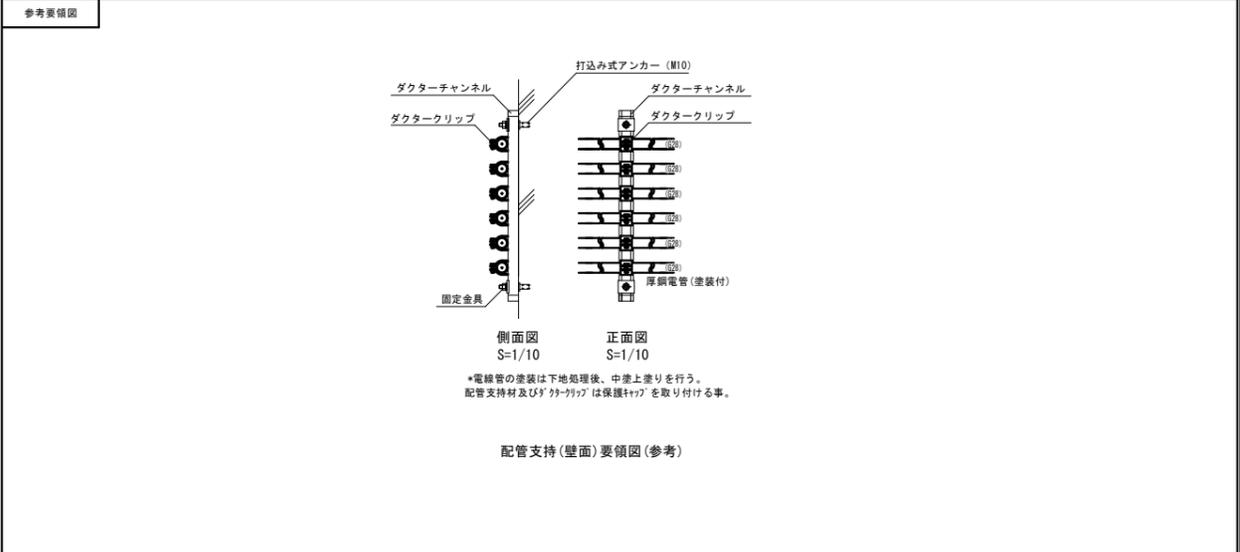
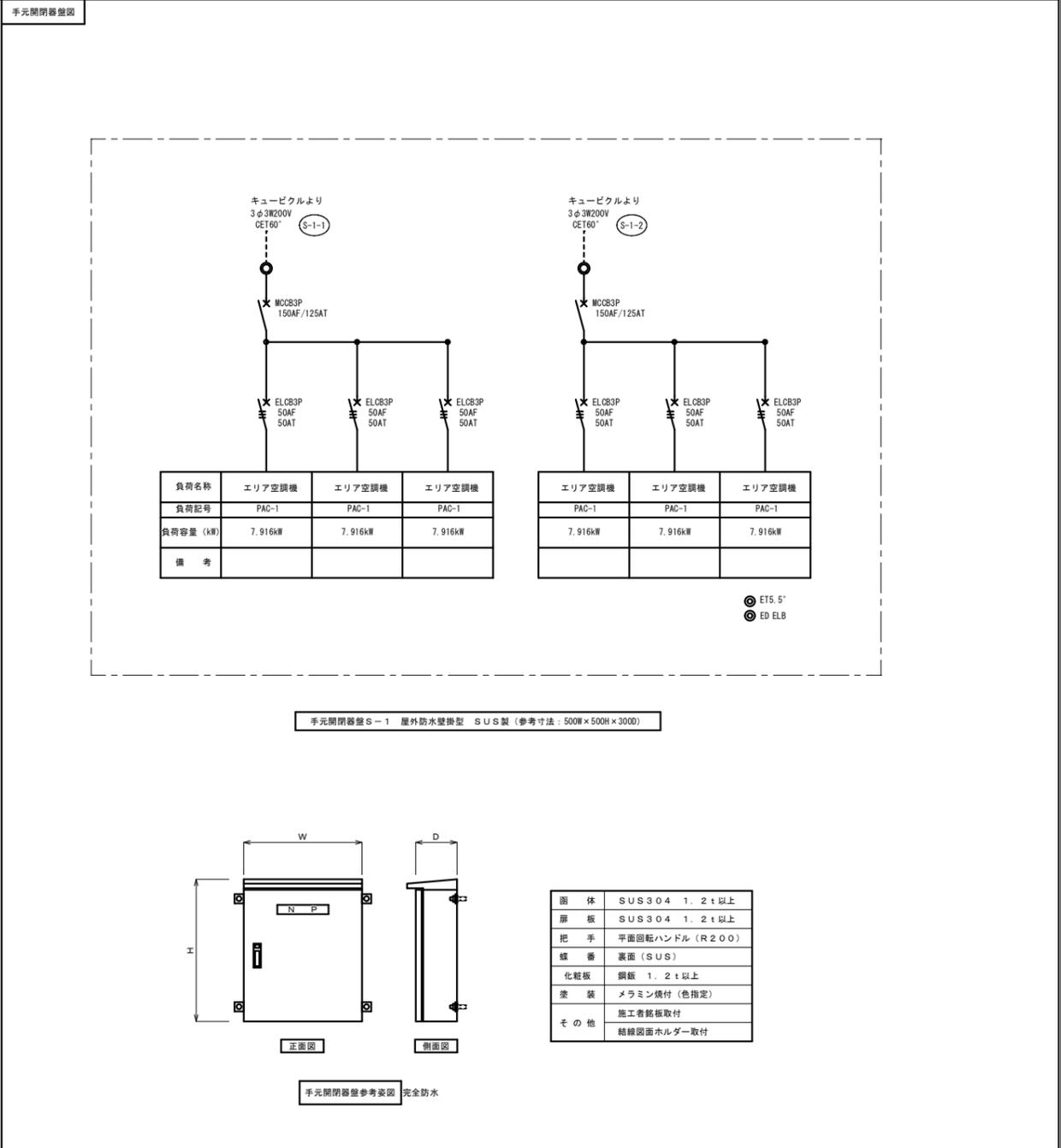
工事名	府中明郷学園(後期課程)体育館空調設備設置工事
図面内容・縮尺	中央棟・屋上配線図 1/100

図面番号	E-05
図面内容	中央棟・屋上配線図
縮尺	1/100
図面範囲	A1-100L, A3-50L
電気	



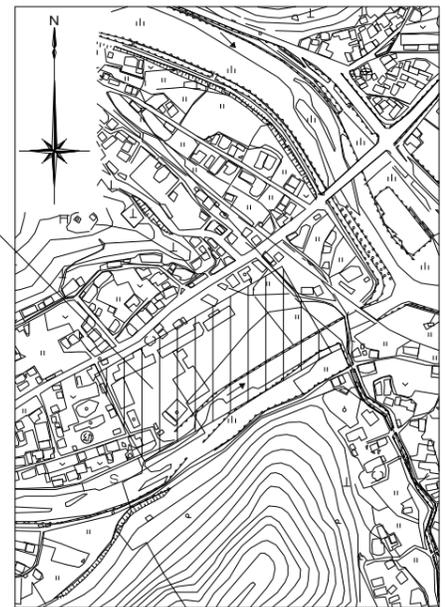
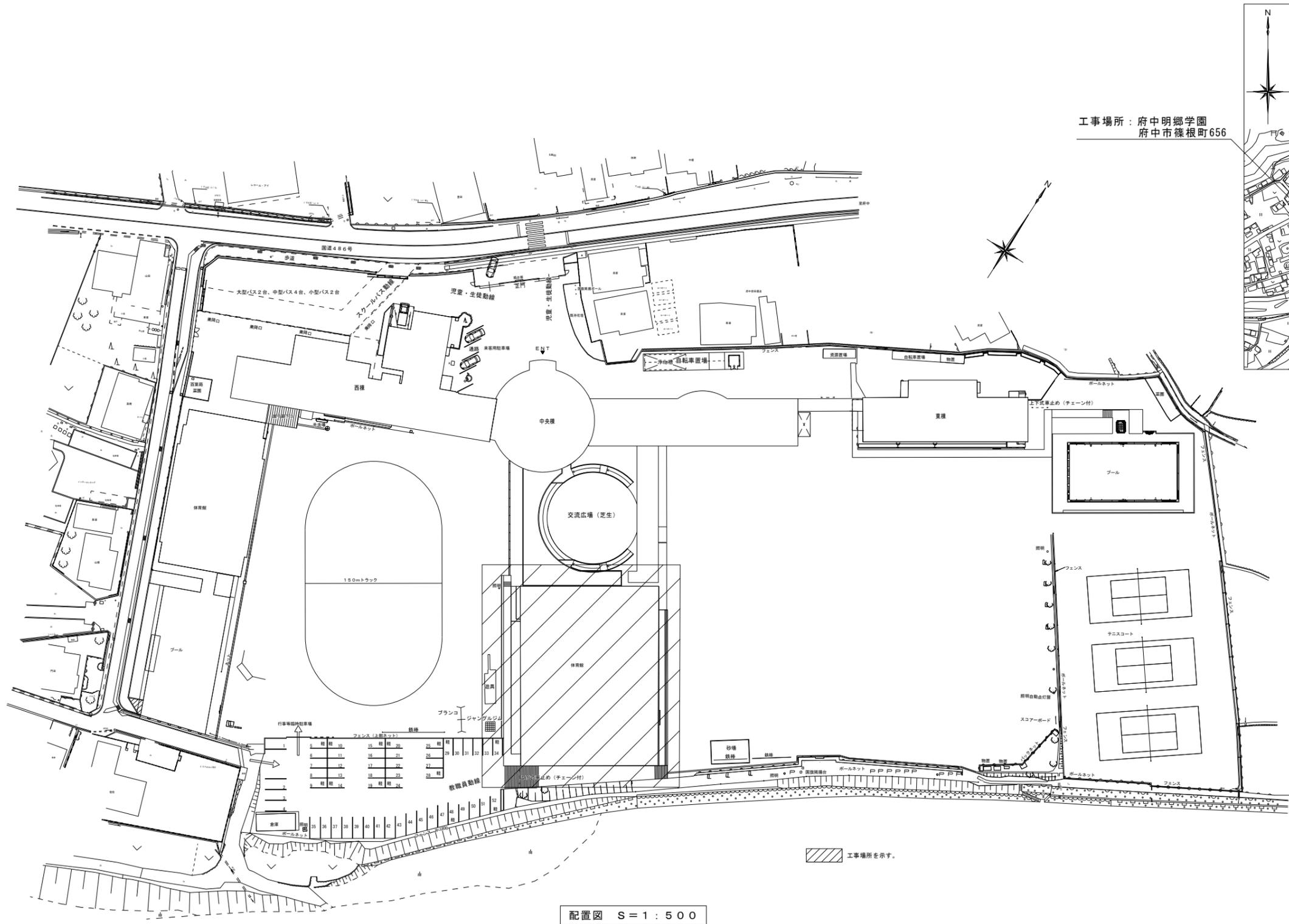


1階上部平面図 S=1/100







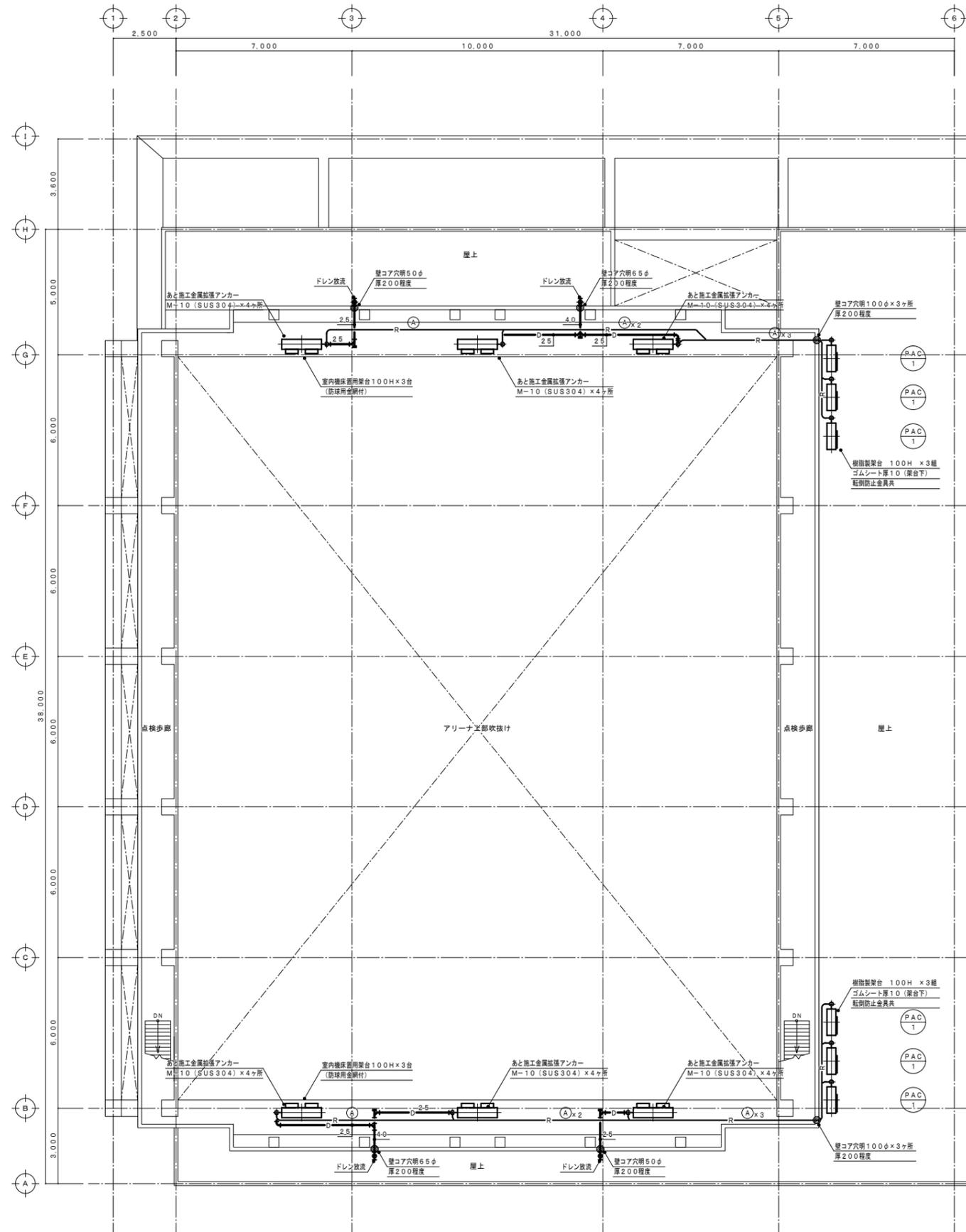


訂正					

工事名	府中明郷学園(後期課程)体育館空調設備設置工事
図面内容・縮尺	配置図・付近見取図 1/500
	A1-100%, A3-50%

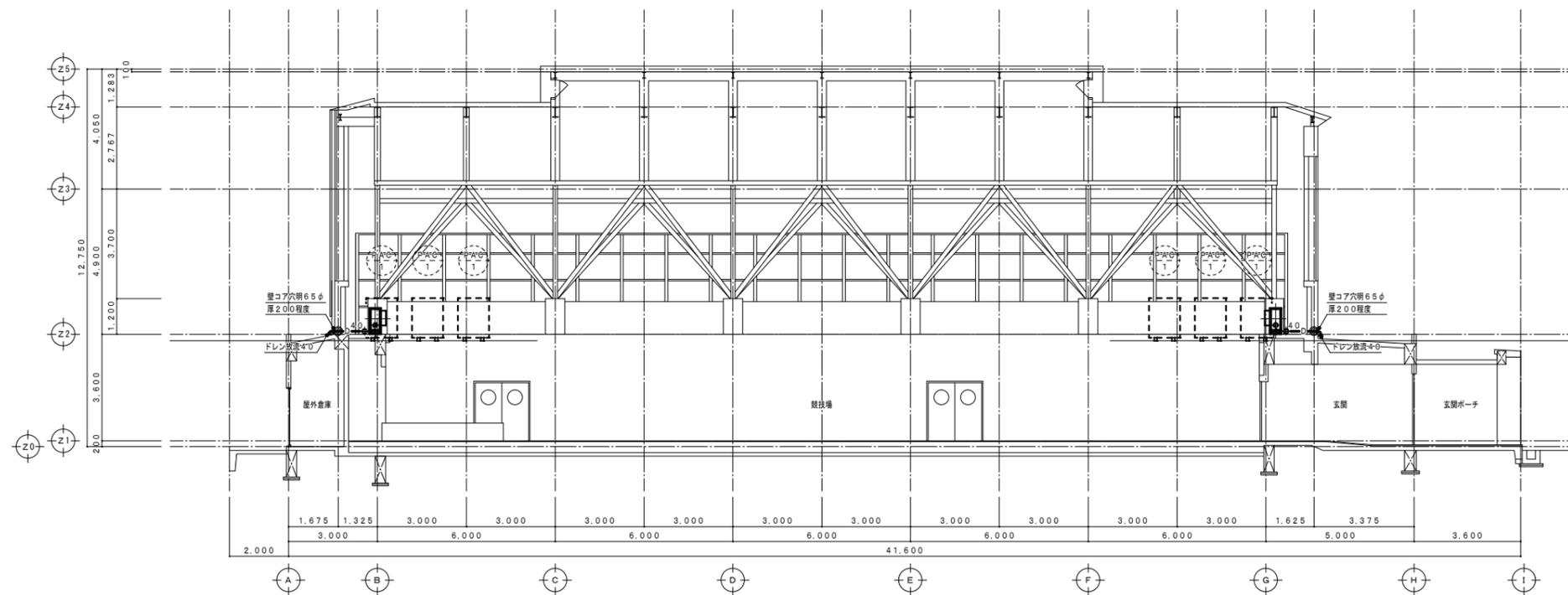
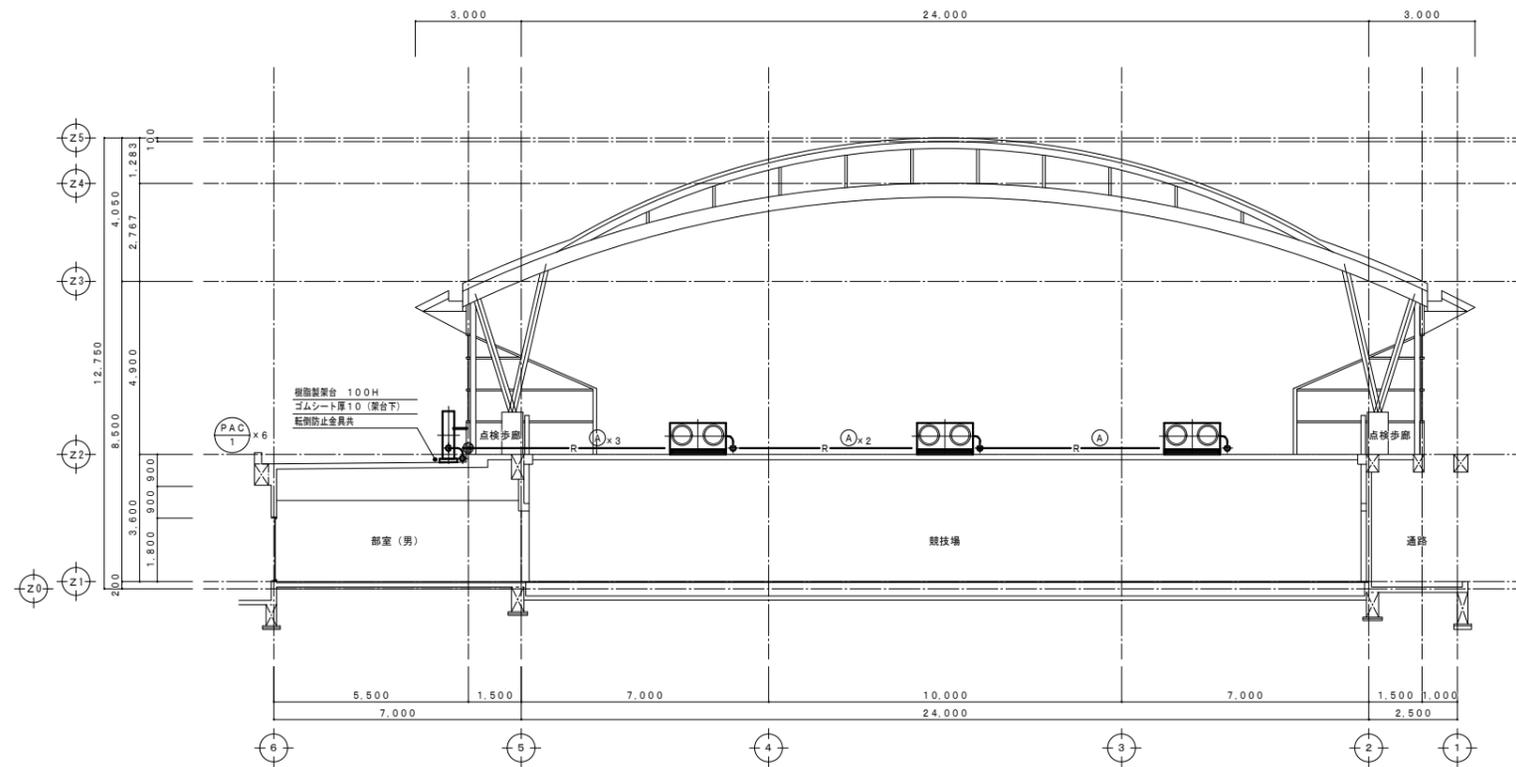
空 調 機 器 表							
機器番号	名 称	仕 様		電気容量	台 数	設 置 場 所	備 考
PAC-1	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン (インバーター式)	形 式 冷 媒 冷 房 能 力 暖 房 能 力 室外機基礎 付 属 品	天吊形(シングル) R32 25.0(13.7~28.0)kW 28.0(10.1~32.3)kW 樹脂製 100H ワイヤードリモン、転倒防止金具、アクティブフィルター、リモンガード、 室内機床置用架台100H(防球用金網付)	電 源(屋内) 単相200V 電 源(屋外) 3φ200V 圧 縮 機 6.00kW 送風機(屋内) 5.58W 送風機(屋外) 4.00W	6	アリーナ	ZAHP-P280-S1 (参考品番)
1. 室内外機の渡り操作線及び二次側電源線は本工事とする。(冷媒管共巻きとする) 2. リモンスイッチ取付及び配線は本工事とする。 3. 冷媒管の屋外露出はステンレスラッキング仕上。屋内露出は樹脂カバー仕上とする。 4. 天井内のドレン管は、GW+アルミガラスクロスとする。 5. パッケージエアコンの能力及び消費電力は、JIS B 8616に規定された定格条件による。 6. 屋上設置の室外機の樹脂製架台は、ゴムシート敷き10mmの上に設置のこと。 7. 室外機の転倒防止措置を行うこと。 8. 外壁穴明部には、防水処理を行うこと。 9. 室外機への一次側電源は電気工事とする。							

凡 例				
記 号	名 称	摘 要	仕 様	
	冷 媒 管	冷媒用被覆銅管(保温付)	屋 内 一 般 部	CUP 透 管一様品厚 20mm 防火管一様品厚 20mm
	ド レ ン 管	硬質塩化ビニル管	屋 内 一 般 部	VP JIS K 6741-99
注) (1) 配管が防火区画等を貫通する場合は、建設省告示第1422号及び建築基準法施行令第129条の2の5に準じて処理を行う。 (冷媒配管の防火区画貫通部措置工法は、国土交通大臣の認定工法とする) (2) 令第112条第15項の規定により、管と防火区画の隙間は不燃材料で埋めること。 (3) 建築設備の支持構造部及び緊結金物で腐食の恐れがある部分には、平12建告1388号に採り切実措置を講ずる。(令129条の2の4第2号) (4) 配管設備の構造は、平12建告1388号第4の規定に従う。(令129条の2の4第2号) (5) 冷媒管の防火区画貫通部は令第129条の2の5 1項7号に基づき施工すること。 (6) 建築設備耐震施工指針 最新版により施工する。 (7) 石綿ビニル二層管は、建築基準法第38条に基づき大臣認定工法により施工する。				

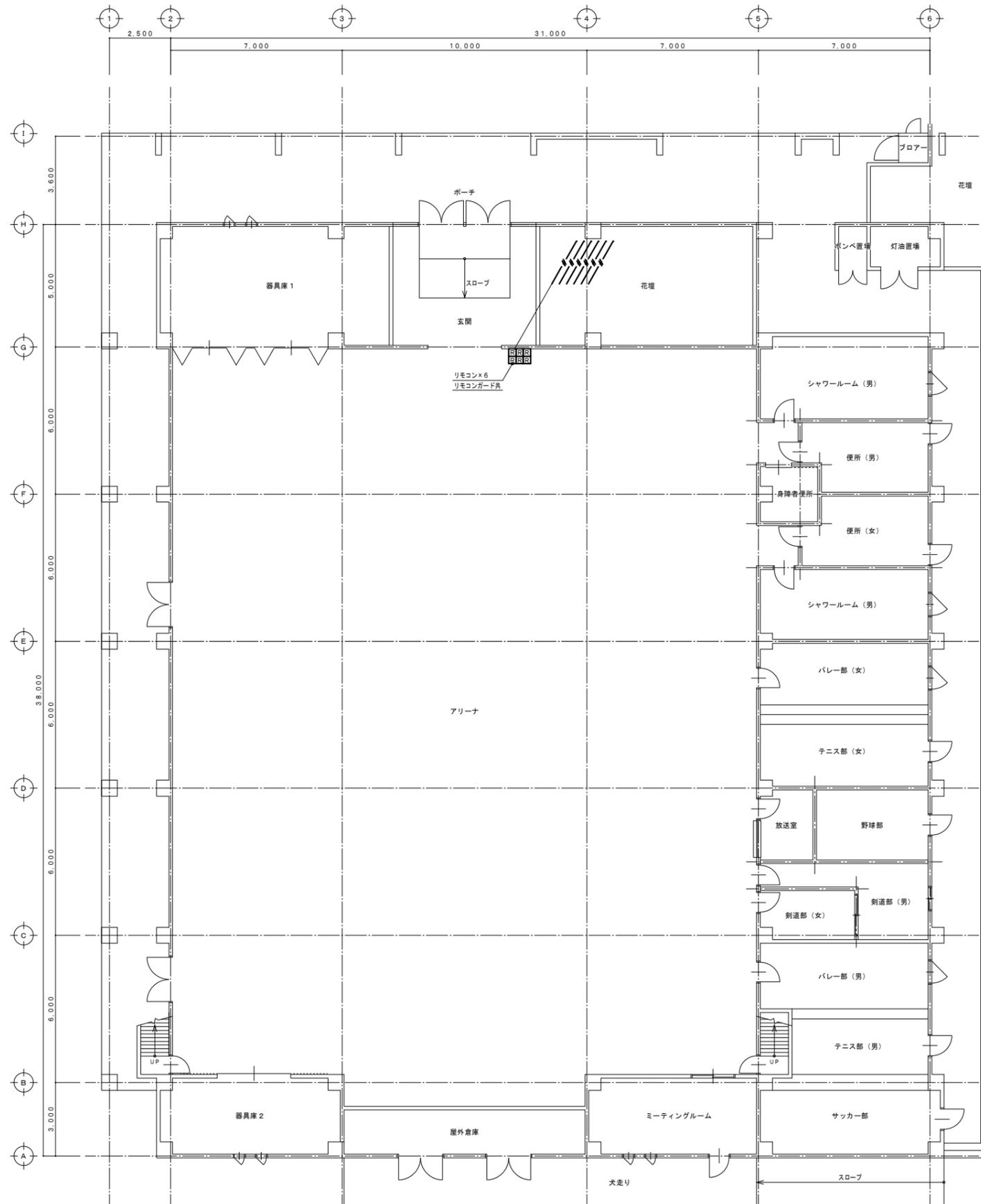


1階上部平面図 S=1/100

冷媒管サイズ		
記号	液管	ガス管
Ⓐ	12.7φ	25.4φ



冷媒管サイズ		
記号	液管	ガス管
Ⓐ	12.7φ	25.4φ



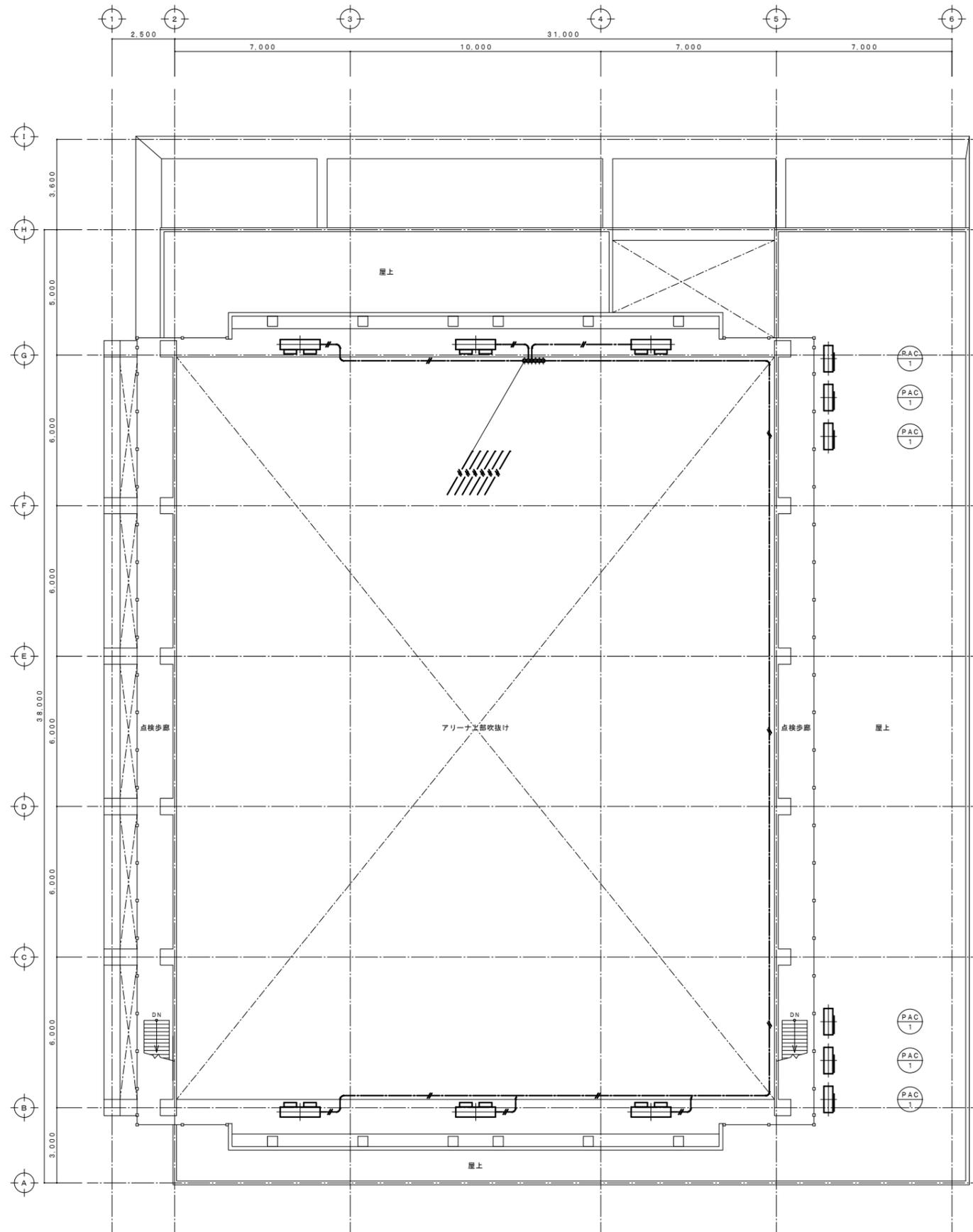
1階平面図 S=1/100

凡例  
EM-CEES 1.25<sup>+</sup>×2C

設計	
監理	
施工	

機材	
設備	
その他	

工事名	府中明郷学園（後期課程）体育館空調設備設置工事
図面内容・縮尺	制御設備 1階平面図 1/100



1階上部平面図 S=1/100

凡例  
 EM-CEES 1.25'x2C

図名	
図面内容	
縮尺	
備考	

図面内容	
縮尺	
備考	

工事名	府中明郷学園（後期課程）体育館空調設備設置工事
図面内容・縮尺	制御設備 1階上部平面図 1/100
区分	A1-100%, A3-50%